

令和
7年度版

中学社会 地理的分野 内容解説資料

学びと指導により
そう教科書

文部科学省検定済教科書 中学校社会科用

116 日文 地理 116-72



中学社会 地理 的分野

日本文教出版

日本文教出版のWebサイト
新版教科書情報



日文 🔍

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。



心が動く、その先へ。

日本文教出版



新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント



1 指導と評価の計画に基づいた教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 問いの構造 ▶ P.6-7
単元の構造 ▶ P.8-15

導入ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返りページ

? 第3節の問い

<問いを立てる活動>

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

ポートフォリオに問いに対する疑問や答えの予想を記入

学習課題

歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

確認

京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現

歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

第3節の問いについて 自分の考えをまとめよう

<問いを解決する活動>

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

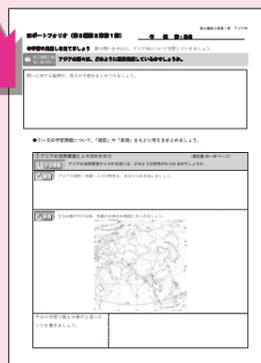
ポートフォリオに考えが変わったことや新たにわかったことなどを記入

● 内容のまとまりでの授業を実現する教科書

- ①導入ページ…単元を貫く問いを立て、学習の見通しをもつ → ②本文ページ…問いを追究する
 - ③まとめ・ふり返りページ…問いを解決し、学習をふり返る
- ポートフォリオは、生徒の学びの自己調整や、主体的に学習に取り組む態度の評価に活用できます。

2 教科書QRコンテンツが充実した教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 3つの柱 ▶ P.18-19
地理独自コンテンツ ▶ P.20-21



イントロダクションムービー



確認小テスト

このほかにも学習内容に応じた個別のコンテンツを多数ご用意しています!
→ 雨温図の重ね合わせ、白地図データ、地理的技能の解説など

● 系統立てて配置した3つのコンテンツ

- ①ポートフォリオ…導入ページでダウンロードできます。自己の学びの記録を一覧でき、ふり返りに活用できます。
- ②イントロダクションムービー…各節の最初に設定している動画で、学習する内容を見通すことができます。
- ③確認小テスト…本文ページに設定している選択形式の問いで、知識の定着に役立ちます。

3 新しい時代を担う主権者を育てる教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 持続可能性 ▶ P.22-23
地域調査・地理的技能 ▶ P.24-25
災害・防災 ▶ P.26-27

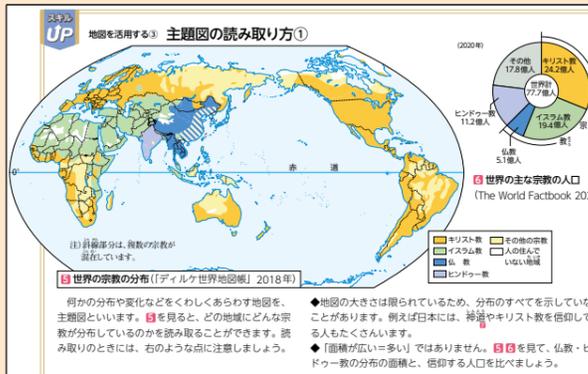


持続可能な社会

巻頭1~2

地理的技能の解説

P.41

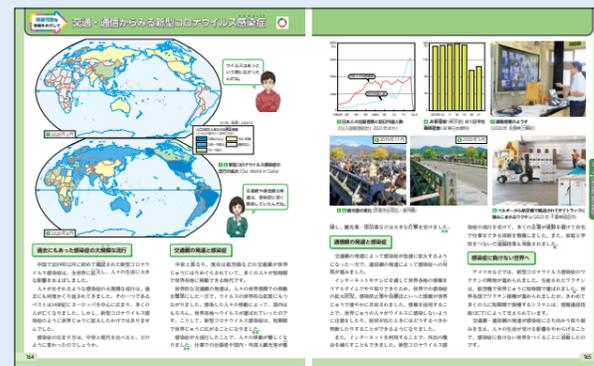


● 持続可能な社会について考えることができる多様な教材

持続可能な社会について巻頭で取り上げ、教科書全体を通して持続可能性やSDGsについて考えられる教材を配置しています。災害・防災についても大きく扱っています。また、地域の将来像を考えたり、地理的事象を読み取ったりするために必要な地理的技能が確実に身につくよう、工夫しています。

4 先生・生徒がわくわくする楽しい教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 最新のトピック ▶ P.28-29
多様性 ▶ P.30 伝統・文化 ▶ P.31
SDGs ▶ P.32 環境 ▶ P.32



新型コロナウイルス感染症

P.164-165

多様性の尊重

P.125



● 生徒の興味を引き、授業設計に役立つ様々なトピック

最新のトピック(新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻、様々な技術と人々の生活など)、多様性の尊重、伝統・文化、SDGs、環境問題・環境保全など、教科書全体を通して具体的な事例を紹介し、多様な地理的事象に対する理解を深められるようにしました。

編集 基本方針

私たちの教科書は、生徒たちを新しい時代を担う主権者へと育てるために、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く力をつけ、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編集しました。

基本方針

1

生徒が主役の 楽しい学び

単元を貫く問いをつかみ、主体的・対話的で深い学びへと導きます。



基本方針

2

社会科授業を 手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につき、教師は指導と評価のポイントが一目でつかめます。



基本方針

3

よりよい社会と 豊かな人生の創造へ

持続可能な社会を実現し、豊かな人生を切り拓くための生きて働く力を鍛えます。



目次

新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント… 2

編集基本方針… 4

1 指導と評価の計画に 基づいた教科書

新しい教科書の「問いの構造」… 6
地域の概要をつかむ大観ページ… 8
問いを立て、学習を見通す導入ページ… 10
授業や生徒の思考の流れを重視した本文ページ… 12
問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ… 14
見方・考え方を働かせた学習を実現する工夫… 16

2 教科書 QR コンテンツが 充実した教科書

教科書 QR コンテンツ 3つの柱… 18
地理の学習をサポートする様々なコンテンツ… 20

3 新しい時代を担う 主権者を育てる教科書

持続可能な社会について考えられる工夫… 22
地域調査と地理的技能… 24
実践的な災害・防災教育… 26

4 先生・生徒がわくわくする 楽しい教科書

現代的な諸課題を扱った豊富な教材… 28
学習上配慮した点… 34
分野間・教科間連携… 36
地域事例一覧… 38
学習指導要領との対照表・配当授業時数… 40
観点別教材一覧… 41
教師用指導書のご案内… 42
デジタル教科書・デジタル教材のご案内 日文 Web サイトのご案内… 44
教科書検討の観点からみた内容の特色… 46

教育キーワード検索

○指導と評価の一体化… 11、13、14
○内容のまとめり… 6-7
○単元を貫く問い／問いの構造… 6-7
○ポートフォリオ… 18-19
○見方・考え方… 16-17
○主体的・対話的で深い学び… 6-7
○考察・構想… 15
○協働的な学び、個別最適な学び… 13、19
○小中高の接続… 37
○特別支援教育… 34-35、44
○SDGs・持続可能な社会… 22-23、32
○ICTの活用… 18-21、44
○自学自習… 18-19
○現代的な諸課題… 28-33
○情報活用… 25

新しい教科書の「問いの構造」

新しい教科書では、**問いを構造化**することで**内容のまとめりでの授業**がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「編・章・節の問い」を解決する構造になっています。教科書の問いに沿って授業を進めていくことで、**主体的・対話的で深い学びを実現**することができます。

導入ページ

単元を貫く問いを立てる

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」（「編・章・節の問い」）を立てます。
第2編第2章・第3編第3章では、その節を大観する写真ページと1時間目、地域のトピックを取り上げた特設ページまでの内容を踏まえて、「節の問い」を立てます。

P.206-207



第3編第3章第3節 近畿地方

第3節の問い

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いを解決するために例を参考に、「なぜ」を用いた問いを立てましょう。

【例】近畿地方では、なぜ歴史的景観の保全がはかれているのでしょうか。



「単元を貫く問い」で、授業をデザインする

内容や時間のまとめりにより構成された授業をデザインすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できます。

学習課題を追究する

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」「表現」の問いに答えます。

P.208-209



P.214-215

本文(追究)ページ

2 現在にいきづく歴史的都市の特色

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

確認 京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

3 港町から世界へ

学習課題 近畿地方は、歴史的に世界とどのような結びつきをもってきたのでしょうか。

確認 大阪や神戸が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現 大阪や神戸がかかえる課題と、解決のためにどのような取り組みをしているかを説明しましょう。

4 伝統を生かした産業と世界進出

学習課題 歴史や伝統を生かした産業から、新たな技術がどのように生まれてきたのでしょうか。

確認 阪神工業地帯が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現 阪神工業地帯と近畿地方の伝統産業がかかえる課題と、解決のためにどのような取り組みをしているかを説明しましょう。

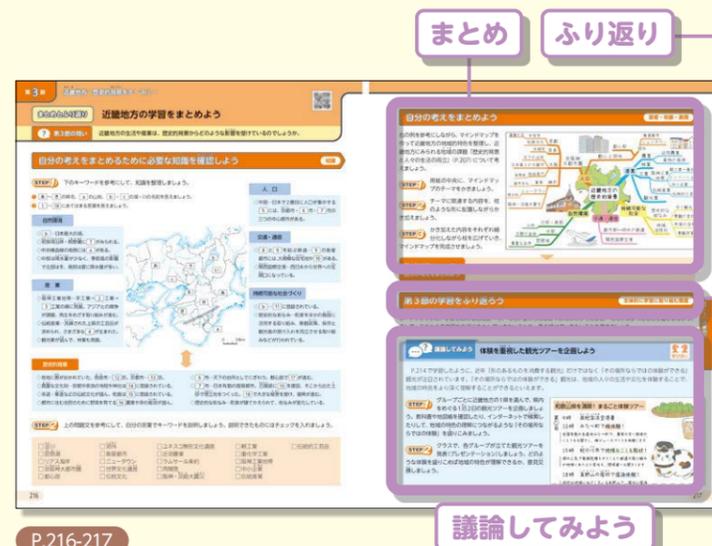
単元を貫く問いを解決し、ふり返る

学んだことをまとめ、「編・章・節の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。

議論してみよう

第2編第2章・第3編第3章では、単元の学習の最後に、地球的課題や地域の課題の解決に向けて「構想」の活動を行います。

P.216-217



第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の学習をふり返ろう

主体的に学習に取り組む態度

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

議論してみよう

体験を重視した観光ツアーを企画しよう



P.214で学習したように、近年「形のあるものを消費する観光」だけでなく「その場所ならではの体験ができる」観光が注目されています。「その場所ならではの体験ができる」観光は、地域の人々の生活や文化を体験することで、地域の特徴をより深く理解することができるといえます。

地域の概要をつかむ大観ページ

教科書全体にわたって、世界の各州・日本の各地方の地域的特色を確実に捉えられる構成にしています。第2編第2章(世界の諸地域)・第3編第3章(日本の諸地域)では、学習指導要領でも求められているように、大観ページで州・地方の概要をつかんでから、導入ページで「節の問い」を立てる流れになっています。

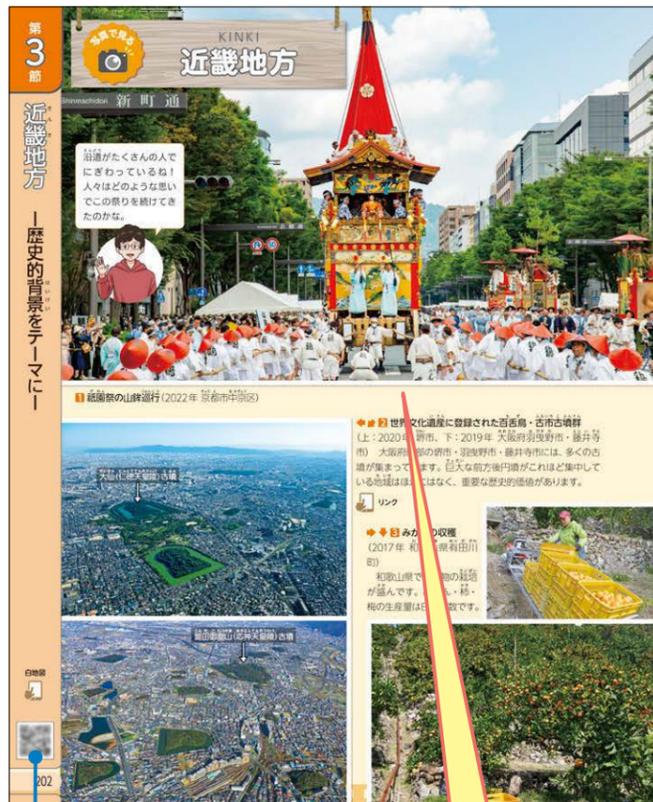
第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返りページ



P.202-203



203



204



P.204-205

自然環境・人文環境にかかわる写真をバランスよく掲載しています。



注目

州・地方の主題や考察の仕方に焦点化

左上には、主題や考察の仕方に深くかかわる写真を大きく掲載しています。キャラクターの問いかけと合わせて写真を読み取ることで、自然にその州・地方の主題や考察の仕方に焦点化できます。

1

生徒の興味・関心を引く多数の写真・地図・グラフ

多数の写真・地図・グラフから、州・地方の様々な地理的事象を読み取り、学習の最初に州・地方を視覚的に捉えます。

2

州・地方の概要を捉えられる文章・図版

州・地方の地形・気候、人口、産業、交通・通信、歴史的背景などを文章・図版からおおまかにつかみ、州・地方の概要を捉えます。

● 雨温図の重ね合わせ (教科書QRコンテンツ)

教科書内のすべての雨温図を自由に選択して重ね合わせたり、任意の数値を入力して作成した雨温図を教科書内の雨温図と重ね合わせたりできるコンテンツをご用意しています。



重ね合わせてみる

注目

● 全州・全地方で統一した体裁・サイズ・配置で掲載した図版

A 土地利用図、B 州・地方ごとのグラフ、C 地形地図、D 人口密度・交通地図、E 雨温図は全州・全地方で統一した体裁・サイズ・配置で掲載しているため、州・地方内で地図どうしを対比したり、ほかの州・地方と比較したりすることができます。

● 白地図(教科書QRコンテンツ)

第2編第2章と第3編第3章では、各節のタイトルの下にある二次元コードから参照していただける弊社Webサイトページで学習内容のまとめに役立つ各州・各地方の白地図をダウンロードすることができます。



サンプルはこちら

問いを立て、学習を見通す導入ページ

導入ページでは、大観ページから「持続可能な地域をめざして」までの学習を踏まえて、既習の知識と新しい資料を組み合わせ「節の問い」を導き出す活動を提案しています。また、立てた問いの答えを予想することを促して、その後の学習の見通しをもつことができるようになっています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返りページ

1 持続可能な地域をめざして

州・地方を象徴するトピックから、その地域の特色をとらえ、州・地方の主題や考察の仕方を自然に意識できるようにします。



声コーナー

教科書の各所に、現地の方の声を紹介する声コーナーを設定しています。第3編第3章の導入ページには、節の学習を見通す際にも役立つインタビュー動画をご用意しています。



サンプルはこちら

P.206-207

持続可能な地域をめざして

歴史を大切にする近畿地方の地域づくり - 京都市を例に -

年	観光客数(万人)	観光客数(1人あたり)
2010年	61.8%	17.1
2014年	78.7	11.4
2018年	78.0	13.4
2021年	77.2	9.4

観光客でにぎわう清水坂(2022年 京都市東山区)

「まち歩き」のための地図

京都市が眺望景観を保全している場所

住民参加型ツアー団体の代表 以翁さんの話

私たちは、地元住民の方々の案内で京都をめぐるさまざまなツアーを企画しています。ツアーは1.5-3kmほどの距離を3時間ほどかけてめぐります。私たちがめざしているのは、「人」の観光です。ガイドを務める人の本家は建築家や歴史学者、ライター、カメラマンから医師、僧侶までさまざまです。ユニークな視点をもつガイドとともに歩くこと、ふだん歩いている街が大きく違って見えてきます。有名な観光地をめぐるだけでなく、それぞれの視点で京都の街を楽しんでほしいです。

京都市は、東・北・西を山に囲まれた内陸部の盆地にあります。そのため、昼と夜の温度差や夏と冬の温度差が大きくなります。また、夏は蒸し暑く、冬は寒さがきびしくなりますが、春と秋は過ごしやすい気候です。1年を通じて多くの観光客が京都をおとずれ、特に紅葉の季節は、1年のなかで観光客が最も多くなります。

京都市は、環境に配慮しつつ、地域の人々にも観光客にも快適なまちづくりをめざしており、歩く観光を進める取り組みが行われています。国内や外国から京都市をおとずれる観光客は、自動車ではなく、徒歩や電車・バスなどの公共交通機関で移動することが多く

なっています。また、京都市では、有名な観光スポットに行くだけでなく、歴史的な街なみをめぐりながら都市そのものを楽しむ「まち歩き」が人気になっています。

京都市は、歴史的な街なみを守るために、神社仏閣の周辺などの景観を保全する取り組みを進めたり、建物の高さや屋外広告の色・デザインを規制したりしています。コンビニエンスストアなどのチェーン店のなかには、京都市ではほかの地域と建物・看板の色やデザインが異なる店舗があります。京都市では、歴史的な街なみに調和する形で人々の活動が行われているのです。

2 気づいたことを出し合おう

大観ページと「持続可能な地域をめざして」の内容や新しい資料をもとに気づいたことを出し合う協働的な学びを提案しています。

3 第○節の問い

気づいたことを出し合う活動を通して立てた節の問いを解決するために、「なぜ」を用いた問いを立てる活動を提案しています。

4 学習の見通しをもとう

節の問いに対する疑問や答えの予想をポートフォリオに書きこみ、キーワードや地球的課題・地域の課題を確認して、これからの学習を見通します。

● 州や地方のキーワード その州や地方の主題や考察の仕方を中心に、その節のキーワードを系統立てて提示しています。

各州で設定している主題・地球的課題の一覧

州名	アジア州	ヨーロッパ州	アフリカ州	北アメリカ州	南アメリカ州	オセアニア州
テーマ	人口や経済発展	国境をこえた統合	自立のための開発と国際協力	世界に影響をあたえる産業	開発と環境保全	多文化社会
地球的課題	経済発展の地域格差や都市問題	統合のかけで広がる格差と対立	モノカルチャー経済からの自立	大量生産・大量消費の生活スタイル	熱帯雨林の伐採による環境破壊	多様な民族の共生

P.45

各地方で設定している考察の仕方・地域の課題の一覧

地域名	九州地方	中国・四国地方	近畿地方	中部地方	関東地方	東北地方	北海道地方
テーマ	自然環境	交通・通信	歴史的背景	産業	人口や都市・村落	持続可能な社会づくり	自然環境
地域の課題	自然環境と人々の生活の両立	過疎化・高齢化した地域の活性化	歴史的背景と人々の生活の両立	産業の競争力の維持	過密化にともなうさまざまな課題	震災から10年以上経過した現在の課題	自然環境との共生

P.169

評価 指導と評価の一体化 主体的に学習に取り組む態度

4の活動を行い、単元の学習後に改めて自分の考えを書きこむことで、生徒が学習の見通しを立て、学習後に自分の考えの変容をふり返ったり、教師の授業改善につなげたりできるようにしました。主体的に学習に取り組む態度の評価もできます。



ポートフォリオ

学習の見通しとふり返りの活動に役立つポートフォリオのデータを教科書QRコンテンツとしてご用意しています。



授業や生徒の思考の流れを重視した本文ページ

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、「編・章節の問い」に答えるための手がかりとなるように工夫しています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返しページ

1 導入資料

本文ページの導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2 学習課題

本文ページで何を学んでいくのかを示しています。この課題を考えながら、学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる



見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

身につけた知識を活用して、学習課題を解決していける紙面になっています。



資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。



見開きの学習内容を掘り下げて、地理を楽しく学び、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。



SDGsと特に関連する箇所を示しています。



対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を示しています。



南北と東西の通りに沿って、街なみが整然と広がっているね。
京都の街なみ(2022年)

2 現在にいきづく歴史的都市の特色

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

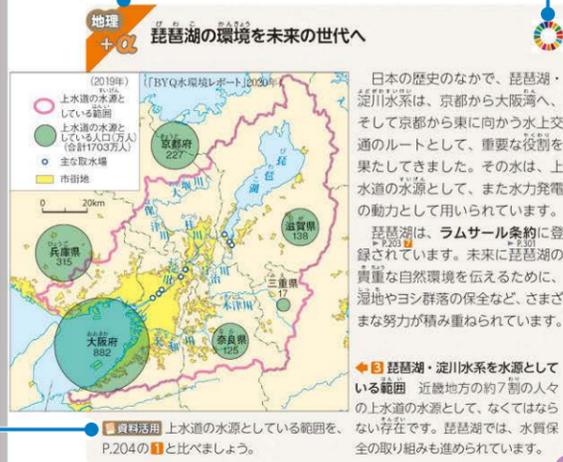
見方・考え方 地域どうのつながり
かつて首都であった歴史が、地域の景観や文化にどのような影響しているのかに着目しましょう。



208 歴史 近畿地方が日本の政治・経済・文化の中心だった時代はいつごろでしょうか。

豊かな歴史に支えられた近畿地方 古くから日本の中心地として発展した近畿地方には、奈良の平城京や京都の平安京など、各地に都(首都)がおかれました。京都は、首都を意味する「京」と「都」が都市名になりました。「近畿」という名称も、首都のまわりの地域を意味する畿内という言葉がもとになっています。京都・大阪は「京」ではなく、中心地の意味をもつ「府」とよばれています。歴史の長い近畿地方には、貴重な文化財が集中しています。京都や奈良には古くから続く寺院や神社も多く、その一部は世界文化遺産に登録されています。

千年の歴史をもつ京都 京都は、日本の歴史のなかで、最も長いあいだ首都であった都市です。およそ1200年前につくられた平安京から発展しました。東西南北にのびた碁盤の目のようにまっすぐな道路や、四条通、五条通といった道路の名前は、



茶坊制という古代の都市計画のなごりです。長い歴史のなかで日本の伝統文化ははぐくまれてきたことも、京都の特色の一つです。茶道や華道には、京都に本部をおく流派が多くみられます。日本料理(和食)や和菓子、織物の伝統を守り、未来に伝えようとしている店舗や業者も少なくありません。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

京都の周辺では、都市に住む住民のために野菜を育てる近郊農業が盛んになりました。そこで守り伝えられた品種は、京野菜とよばれています。京都の南にある宇治を中心とした地域では製茶業が盛んとなり、現在では宇治茶の名前で世界的に親しまれています。

日本の歴史のふると、奈良 奈良には、東大寺、興福寺、春日大社など、およそ1300年前の平城京の時代から続いている寺院や神社があります。平城京が都でなくなった後も、寺院や神社と周辺の町は残り、宗教・文化の中心地の一つとして、北にある京都に対して南都とよばれ、現在の奈良へと発展してきました。平城京の中心であった平城宮跡では、発掘調査や建物の復元が進みかつての景観が想像できるように整備されています。



4 日本料理(和食)の食育授業(2019年京都市北区)



5 茶をいただく店が立ちならぶ平等院の参道(2020年京都市宇治市)



6 平城京の範囲と現在の市街地

確認 京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からめき出しましょう。

表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

3 本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

4

確認 表現

学習課題に対応し、本文ページの学習を確かにする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

1時間の学習をふり返る



指導と評価の一体化

知識・技能、思考・判断・表現

「確認」は知識・技能、「表現」は思考・判断・表現に対応しており、評価に活用していただくこともできます。

連携コーナー

主に小学校の学習や歴史・公民とのつながりを示しています。

二次元コード

読み込むことでその見開きにある教科書QRコンテンツを参照することができます。見開きタイトルとセットで示しています。→本冊子P.18参照

タブレットマーク

このマークのついた教材は、二次元コードを読み込んだ先のWebページにある教科書QRコンテンツで、学習を深めることができます。→本冊子P.18参照

問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ

まとめ・ふり返りページでは、習得した知識を確認した後、「編・章・節の問い」に答える活動を行います。また、ポートフォリオを用いて学習をふり返ることで、学びの自己調整ができるようになっています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究) ページ

まとめ・ふり返りページ

指導と評価の一体化

観点ごとに活動を整理

まとめ・ふり返りページでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」それぞれの評価の観点に沿って活動を整理しています。



生徒は学習のふり返りができるだけでなく、教師はどのように評価をすればよいかわかりやすい構成になっています。

●第2編第2章、第3編第3章の各節の「知識」の問い

STEP1では各州・各地方の白地図を見ながら穴埋め形式の問いに答え、STEP2では自分の言葉でキーワードを説明する形に統一しています。

「知識」の問いの使い方

STEP1の穴埋め問題の文章とSTEP2のキーワードは、組み合わせて使うことで知識の確実な習得に役立てることができます。例えば、STEP2のキーワードが答えになる問題を作成して、グループで出題し合う活動などが考えられます。問題を作成する際には、STEP1の問題文が参考になります。

●教科書QRコンテンツ

まとめ・ふり返りページでは、教科書QRコンテンツとして導入ページに設定しているのと同じポートフォリオをダウンロードできます。また、単元全体の問いをランダムに出題する確認小テストをご用意しています。

第3部 近畿地方—歴史的背景をテーマに—

まとめとふり返り 近畿地方の学習をまとめよう

第3節の問い 近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

自分の考えをまとめるために必要な知識を確認しよう

STEP1 下のキーワードを参考にして、知識を整理しましょう。

1 [a]〜[e]の地名、[a]の山地、[b]・[c]の湖・川の名前を答えましょう。

2 [1]〜[18]にあてはまる言葉を書き入れましょう。

人口

◇中部…日本で2番目に人口が集中する[5]には、京都市・[6]市・[7]市の三つの中心都市がある。

交通・通信

◇[8]と[9]を結ぶ鉄道…[9]の新屋敷市には、大規模な住宅地や[10]がある。

◇関西国際空港…西日本から世界への玄関口になっている。

自然環境

◇[b]…日本最大の湖。

◇若狭湾沿岸…熊野灘に[1]がみられる。

◇中央構造線の南側には[3]がある。

◇中部は降水量が少なく、季節風の影響で北部は冬、南部は夏に降水量が多い。

産業

◇阪神工業地帯…手工業→[2]工業→[3]工業の順に発展。アジアとの競争が課題。再生をめざす取り組みが進む。

◇伝統産業…洗練された上質の工芸品が求められ、さまざまな[4]が生まれた。

◇観光業が盛んで、林業も発展。

持続可能な社会づくり

◇[b]…[11]に登録されている。

◇歴史的な街なみ…町家をほかの施設に活用する取り組み、景観政策、保存と観光客の受け入れを両立させる取り組みなどが行われている。

歴史的背景

◇各地に語られていた。奈良市…[12]京。京都市…[13]京。

◇貴重な文化財…京都や奈良の寺院や神社は[14]に登録されている。

◇茶道・華道などの伝統文化が盛ん。和食は[15]に登録されている。

◇都市に住む住民のために野菜を育てる[16]農業や茶の栽培が盛ん。

◇[6]市…天下の台所としてにぎわう。都心部で[17]が進む。

◇[7]市…日本有数の貿易都市。百屋敷に[10]を建設。そこから出た土砂で埋立地をつくった。[18]で大きな被害を受け、復興が進む。

◇歴史的な街なみ…町家が建てかえられて、街なみが変わっている。

STEP2 上の問題文を参考にして、自分の言葉でキーワードを説明しましょう。説明できたものにはチェックを入れましょう。

□ 湖沼 □ 郊外 □ ユネスコ無形文化遺産 □ 軽工業 □ 伝統的工芸品

□ 琵琶湖 □ 衛星都市 □ 近郊農業 □ 重化学工業 □ 京都市

□ リニア海洋 □ ニュータウン □ ラムサール条約 □ 阪神工業地帯 □ 京阪神大都市圏

□ 世界文化遺産 □ 再開発 □ 中小企業 □ 伝統産業

□ 都心部 □ 伝統文化 □ 阪神・淡路大震災 □ 伝統産業

自分の考えをまとめよう

右の例を参考にしながら、マインドマップを作って近畿地方の地域特色を整理し、近畿地方にみられる地域の課題「歴史的背景と人々の生活の両立」(P.207)について考えよう。

STEP1 用紙の中央に、マインドマップのテーマをかきましょう。

STEP2 テーマに関連する内容を、枝のような形に配置しながらかき加えよう。

STEP3 かき加えた内容をそれぞれ細分化しながら枝を広げていき、マインドマップを完成させよう。

第3節の問いについて 自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の学習をふり返ろう

ポートフォリオに、学習を始める時と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に活かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

議論してみよう 体験を重視した観光ツアーを企画しよう

P.214で学習したように、3年「形のあるものを消費する観光」だけではなく「その場所ならではの体験ができる」観光が目ざされています。「その場所ならではの体験ができる」観光は、地域の人の生活や文化を体験することで、地域の特色をより深く理解することができるといえます。

STEP1 グループごとに近畿地方の1県を選んで、県内をめぐる1泊2日観光ツアーを企画しましょう。教科書や地図帳を確認したり、インターネットで検索したりして、地域の特色の理解につながるような「その場所ならではの体験」を盛りこみましょう。

和歌山県を満喫！まるごと体験ツアー

第9時 南紀白浜空港着

10時 みなべ町で極体験！

全頭食の生産地みなべ町で、産家の方から新鮮のくふうをお聞きし、極シェフづくりを体験します

15時 紀の川市で地場おこしを取材！

稲の人手で収穫を体験するのりこまの製造の取り組みが地味にわたる変化を、関係者からお聞きします

18時 高野山の宿坊で宿坊体験！

1日中が地味にわたる高野山で、宿坊に宿坊

STEP2 クラスで、各グループが立てた観光ツアーを発表(プレゼンテーション)しましょう。どのような体験を盛りこめば地域の特色が理解できるか、意見交換しましょう。

思考ツールの提案

まとめの活動では、さまざまな思考ツールを使った活動を提案しています。また、思考ツールを端末上で操作していただけるコンテンツをWebサイトで公開しています。サンプルはこちら

教科書内で提案している思考ツールの例

ツール	掲載箇所
フィッシュボーンチャート	P.61、77、233
ダイヤモンドランキング	P.89、185
座標軸	P.117
クラゲチャート	P.167
マインドマップ	P.217

議論してみよう

第2編第2章、第3編第3章の各節の最後で「構想」に取り組めます。主体的・対話的で深い学びを実現することができます。

1 知識の確認

単元で学習した内容について、地図やキーワードに沿って確認して知識を整理するとともに、知識を定着させることができます。

知識を評価する

2 「問い」に答える活動

思考ツールの提案や、いくつかのステップに分けた活動を提示することで、活動の流れが見えやすくなります。

思考・判断・表現を評価する

3 学習のふり返り

最後に単元の学習をふり返る活動を設定しています。自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができます。

主体的に学習に取り組む態度を評価する

見方・考え方を働かせた学習を実現する工夫

教科書の冒頭で、**1 位置や分布**、**2 場所**、**3 人と自然とのかかわり**、**4 地域どうしのつながり**、**5 地域**という五つの「地理的な見方・考え方」を働かせる練習ができるページを設定しました。親しみやすいイラストを通して「見方・考え方」を捉えることで、本文ページの各見開きで「見方・考え方」を働かせながら学習できます。

巻頭口絵

(地理的な見方・考え方の解説)

学習指導要領に示された、五つの「地理的な見方・考え方」について分かりやすく解説しています。

見開き上部にある**1**～**5**の五つの「地理的な見方・考え方」の解説をもとに、イラストを見ながら問いの答えを考えることで、自然に「地理的な見方・考え方」を捉えることができます。

巻頭で捉えた「見方・考え方」を本文ページで働かせていくことで、より深く「見方・考え方」を身につけることができます。

本文ページの各見開き

五つの「地理的な見方・考え方」のうち一つを提示しています。

各見開きでは、学習課題とともに示しているそれぞれの「地理的な見方・考え方」に基づいて、本文を記述し、図版を掲載しています。

学習指導要領に示された「見方・考え方」を、以下のように言い換えています。

人間と自然環境との相互依存関係

空間的相互依存作用

3 人と自然とのかかわり

4 地域どうしのつながり

地理的な見方・考え方って？

1 位置や分布

それはどこにあるのでしょうか？
それはどのように分布しているのでしょうか？
読み取りポイント 地名や目印になるもの

2 場所

そこはどんなところでしょうか？
読み取りポイント まわりを見わたすとわかる自然や社会のようす

3 人と自然とのかかわり

人々の生活と自然環境は、たがいにあたえ合っているのでしょうか？
読み取りポイント 地形・気候に合わせた人々のくふう

中学校社会科地理的分野の学習では、「地理的な見方・考え方」を働かせて、世界や日本のものごとを見ていきます。「地理的な見方・考え方」を意識することで、ものごとの見え方が変わってきます。「地理的な見方・考え方」は、以下の**1**～**5**に整理することができます。

4 地域どうしのつながり

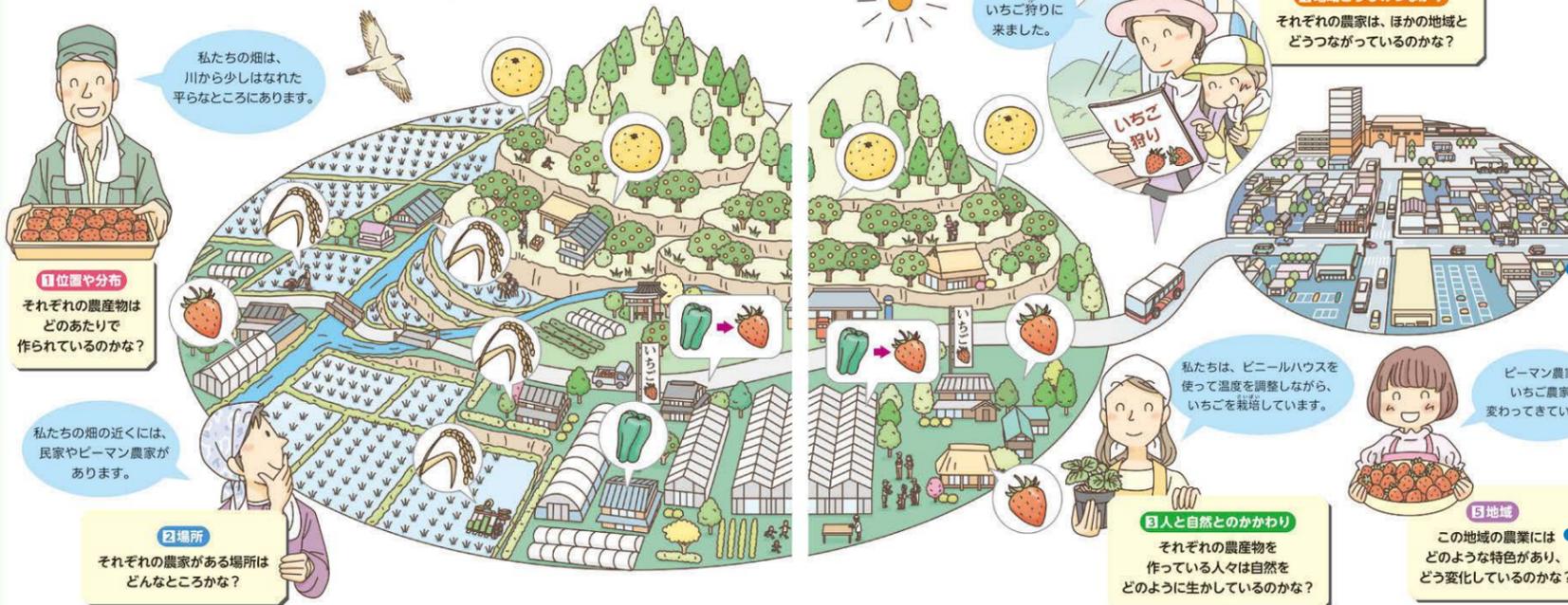
そこは、ほかの場所とどのような関係をもっているのでしょうか？
読み取りポイント 人、もの、情報の流れ

5 地域

そこにはどんな特色があるのでしょうか？
そこはどのように変化しているのでしょうか？
読み取りポイント その地域ができる条件、その地域の変化

地理的な見方・考え方を働かせてみよう！

いちご農家を例に、地理的な見方・考え方を働かせる練習をしましょう。ヒント



巻頭 3

巻頭 4

注目

番号の対応

巻頭・本文の「見方・考え方」に**1**～**5**の番号を付して、わかりやすくしています。

五つの「見方・考え方」の概念についての解説

様々な地理的事象を盛り込んだ、見れば見るほど楽しいイラスト

問いを考えるためのヒント

それぞれの「見方・考え方」を働かせて考える問い

1 位置や分布を提示した見開き

P.14

1 日本の位置をとらえよう

学習課題 世界のなかで、日本の位置はどのようにあらわすことができるのでしょうか。

見方・考え方 位置や分布 緯度・経度からみた日本の位置 世界のなかでの日本の位置をあらわすには、さまざまな方法があります。P.10～11で学習した緯度・経度を使う方法もその一つです。

2 場所を提示した見開き

P.40

7 さまざまな宗教と人々の生活

学習課題 世界の人々は、どのような宗教を信仰しているのでしょうか。

見方・考え方 場所 世界の三大宗教 世界では、さまざまな宗教が信仰されています。仏教は、南アジアのインドでおこりました。その後、東南アジアや東アジアに広まりました。日本には6世紀に伝わり、多くの僧侶が中国にわたって教を学びました。キリ

本文ページではこのように示しています。

注目

常に「見方・考え方」を意識しながら学習

各見開きの学習の際に「地理的な見方・考え方」を繰り返し意識することで、生徒が「見方・考え方」を自ら働かせることができるようになります。

3 人と自然とのかかわりを提示した見開き

P.152

4 災害にそなえるために

学習課題 自然災害から地域や人々の生活を守るために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか。

見方・考え方 人と自然とのかかわり 防災・減災へのくふう 日本では、明治以降、建設技術の進歩や経済発展にともなって、防災対策が進められ、堤防、ダム、防潮堤などが整備されました。また、観測技術の進歩によって、津波、気象などの整備、注意報もより正確になりました。

4 地域どうしのつながりを提示した見開き

P.224

2 日本を支える工業の中心地、東海

学習課題 東海では、なぜ自動車をはじめとした工業が盛んなのでしょうか。

見方・考え方 地域どうしのつながり 自動車工業の盛んな東海 中京工業地帯は、自動車などの輸送機械の生産が盛んで、日本最大の工業地域になっています。自動車工業で有名な豊田市では、かつては繊維工業が盛んでした。繊維工業のための機械を製造していた企業が、その技術を生

5 地域を提示した見開き

P.198

5 交通・通信を生かした地域活性化

学習課題 中国・四国地方では、交通網や通信網を生かしてどのように地域の魅力を発信しているのでしょうか。

見方・考え方 地域 過疎地域における交通・通信の活用 中国・四国地方では、中国山地、四国山地の山間部、山陰や南四国などで過疎化が進んでいます。過疎地域では人口の減少や高齢化が進んでいて、産業がとろえたり、鉄道やバスが廃止・減便されたり、学校・病院などの

教科書QRコンテンツ3つの柱

見開きタイトルの横に掲載している二次元コードを読み取ると、その見開きにあるコンテンツの一覧ページが開きます。コンテンツがある箇所には紙面上にタブレットマークを配置して、どこにどのようなコンテンツがあるのかを示しています。



合計 **301個** のコンテンツをご用意しています。



教科書QRコンテンツ一覧

種別	数	種別	数	種別	数
イントロダクションムービー	13	確認小テスト	101	ポートフォリオ	45
その他動画	3	雨温図	18	ワークシート	3
外部リンク	95	スライドショー	5	白地図ダウンロード	17
(うちNHK for School)	(48)	マスク(練習問題)	1		

内容のまとまりでの授業を支援したり、個別最適な学びを実現したりするために、教科書全体を通して「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の3つのコンテンツを系統的に設定しました。家庭学習でも利用でき、生徒の自学自習を支援します。

1 ポートフォリオ

生徒の学習履歴を記録するコンテンツです。生徒の考えの変容を見取ることができるため、**学びの自己調整に役立ちます**。また、「**主体的に学習に取り組む態度**」の評価に活用することもできます。Word、PDF、Googleドキュメントの3種類のデータをご用意しています。印刷して紙で運用していただくことも、タブレット端末上で運用していただくこともできます。

第2編第2章第1節 アジア州(P.51)

2 イントロダクションムービー

1~4分程度の長さで、すべての節の導入ページの「持続可能な地域をめざして」に設定している、**教科書完全準拠のオリジナル動画コンテンツ**です。節の学習の見通しをもったり、「節の問い」を立てたりする際に役立ちます。

第3編第3章第4節 中部地方(P.222)

3 確認小テスト

主に**重要語句**について4択問題で確認できるコンテンツです。本文ページに設定しており、知識の定着に役立ちます。まとめ・ふり振り返りに設定している確認小テストは単元全体の問いをランダムに出題します。テスト前の確認にも活用できます。

第3編第3章第5節 関東地方(P.236-237)

地理の学習をサポートする様々なコンテンツ

地理的技能の習得や、学習内容のまとめなどに役立つ様々なコンテンツをご用意しています。また、学習内容に関する動画やWebサイトへのリンクも設定しており、生徒が自主的に学習を深めることができます。

各地の気候の特色を読み取りやすくする雨温図の重ね合わせ

教科書中のすべての雨温図と、自分で作った雨温図を重ね合わせることができます。

重ね合わせ

注目 気温・降水量の凡例別表示と月ごとの表示

重ね合わせでは、気温・降水量の表示をそれぞれON/OFFの切り替えができ、表示する範囲を月ごとに指定できます。読み取りの支援に役立ちます。

雨温図を選ぶ
 ①高知 (17.3°C/2666.4mm)
 ②新潟 (13.9°C/1845.9mm)
 自分で雨温図をつくる
 ③大分市 (16.7°C/1737mm)

①②では教科書に出てくる雨温図から1つつ選んで、気温・降水量、月ごとに表示を切り替えることができます。
 ③では好きな数値を入力して雨温図をつくり、気温・降水量、月ごとに表示を切り替えることができます。

④でつくった雨温図を①②で教科書に出てきた雨温図と重ねてみましょう。
 ①②③の三つを重ねることも、①か②のどちらかと④を重ねることもできます。

P.188 第3編第3章第2節 中国・四国地方各地の雨温図

地理的技能を解説するスライドショー

主にスキルUPがある箇所にご用意しており、地理的技能の確実な習得に役立ちます。

スキルUP 統計資料を活用する② 雨温図の読み取り方

雨温図の読み取り方

雨温図ってどんなもの？

雨温図とは、
 ① 月別平均気温 と
 ② 降水量 を合わせて示したもの。
 月別平均気温と降水量は、月ごとの数値よりも、1年間に気温と降水量がどのように変化していくかを読み取り、それが重要です。

注目 解説と練習問題

スライドショーでは、スキルUPの内容の詳しい解説とともに、練習問題を設定しているため、より効果的に地理的技能を身につけることができます。

P.28 スキルUP

学習内容のまとめに役立つ白地図のダウンロード

世界全図、日本全図、各州・各地方の白地図をご用意しています。

白地図ダウンロード

学習した内容を地図にまとめるときなどに活用しましょう。

世界地図 > 日本地図 >

世界の諸地域

アジア州 > ヨーロッパ州 >
 アフリカ州 > 北アメリカ州 >
 南アメリカ州 > オセアニア州 >

白地図を単元の最初にダウンロードして、知識を地図にまとめながら学習を進めていくことができます。

P.46 第2編第2章第1節 アジア州

地理的な見方・考え方って？

1 位置や分布
それはどこにあるのでしょうか？
それはどのように分布しているのでしょうか？
読み取りポイント 地名や目印になるもの

2 場所
そこはどんなところでしょうか？
読み取りポイント まわりを見わたすとわかる自然や社会の様子

3 人と自然とのかわり
人々の生活と自然環境は、たがいにあたえ合っているのでしょうか？
読み取りポイント 地形・気候に色を

地理的な見方・考え方を働かせてみよう！
いちご農家を例に、地理的な見方・考え方を働かせる練習をしましょう。

農村地域のイラストを見ながら位置や分布の見方・考え方をたからせてみよう！

1 位置や分布
それはどこにあるのでしょうか？
それはどのように分布しているのでしょうか？
読み取りポイント 地名や目印になるもの

チャレンジ
1 位置や分布
それぞれの農産物は、どのあたりに作られているのかな？
まきはいちご農家があるところの共通点を探してみよう。

都市地域ではたからせる

巻頭3-4 地理的な見方・考え方って？

マスク (練習問題)

タップするとマスクが外れる形の練習問題です。知識を確実に定着させることができます。

タップするとマスクが外れる形の練習問題です。知識を確実に定着させることができます。

地形図のしくみと約束を知る

P.132 地形図のしくみと約束を知る

持続可能な社会について考えられる工夫

持続可能な社会に関連する内容を各所に掲載し、教科書全体を通して持続可能な社会について考えられるように工夫しています。めざされている社会がどのようなものか巻頭で捉えた上で、様々な教材に触れ、持続可能な社会を実現する構想の活動を行うことで、持続可能な社会について自分ごととして捉えられるようにしました。

巻頭口絵

教科書の巻頭に、様々な事例とともに持続可能な社会と生徒自身とのかかわりについて考えられるページを設定しました。

巻頭1-2



議論してみよう

第2編第2章・第3編第3章の各節の最後に設定している「議論してみよう」では、持続可能な社会づくりをふまえて、地域の課題の解決に取り組む活動を提案しています。

議論してみよう 東京への一極集中についてディベートしよう

関東地方にみられる地域の課題「過密化ともなうさまざまな課題」(P.239)を解決するために、東京への一極集中を緩和することについて、ディベートしましょう。

賛成 私は一極集中を緩和するのに賛成です。なぜなら、通勤・通学の混雑が改善して、東京に住む人々にとってプラスになるからです。

反対 私は反対です。都市機能が分散すると効率が悪くなります。東京が世界の大都市と競争していくには、都市機能の集中が必要ではないでしょうか。

私も都市機能を地方中核都市などに分散してもいいと思います。交通網も発達しているし、通信網も整備されているからです。

過密化による問題は改善しつつあるし、東京にはいろいろな魅力があるから人々が集まり、活気があるのだと思います。

STEP 1 自分の立場(賛成/反対)を明らかにしてから、理由を説明しましょう。
STEP 2 賛成/反対の理由に説得力をもたせるために、根拠となる事実をつけ加えましょう。
STEP 3 自分の言いたいことばかり主張するのではなく、相手の主張もしっかり聞いてから反論しましょう。

議論してみようの一覧

タイトル	掲載箇所
2編2章1節 アジアの課題をどう解決する?	P.61
2編2章2節 離脱前と離脱後のイギリスの人々の声を聞いて判断しよう	P.77
2編2章3節 自立のための取り組みの優先順位をグループで話し合おう	P.89
2編2章4節 大量生産・大量消費の生活を維持する? しない?	P.105
2編2章5節 さまざまな立場の人々と熱帯雨林を守る方法を考えよう	P.117
2編2章6節 あなたの考える多文化社会って?	P.129
3編3章1節 環境保全と観光業を両立させよう	P.185
3編3章2節 四国新幹線の整備について考えよう	P.201
3編3章3節 体験を重視した観光ツアーを企画しよう	P.217
3編3章4節 産業の競争力を維持する方法を考えよう	P.233
3編3章5節 東京への一極集中についてディベートしよう	P.249
3編3章6節 これから10年間の復興計画を考えよう	P.265
3編3章7節 持続可能な地域の在り方を考えよう	P.281

持続可能性について考えることができる様々な教材

環境問題・環境保全、災害・防災、産業、地域活性化など、様々な観点から持続可能性について考えることができる教材を設定しています。

環境保全 P.111

5 宇田から見た熱帯雨林の変化(ブラジル) 6 写真の中央部にはダムが建設されています。

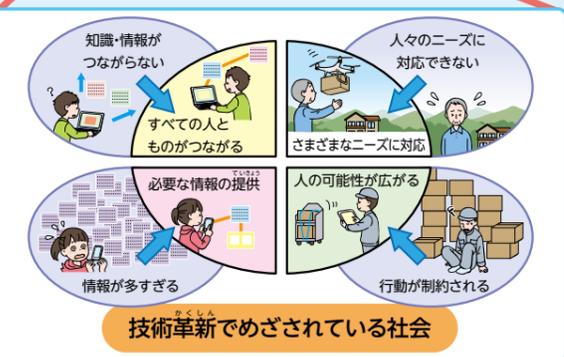
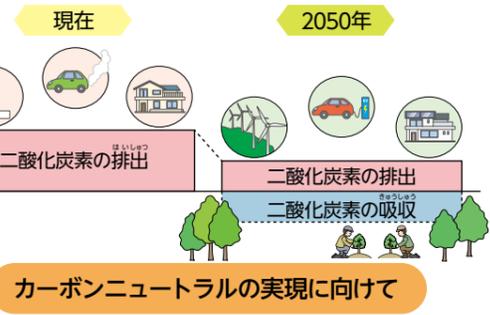
7 世界の大豆の生産量 (FAOSTAT)

緑色の部分が大きく減少しているね。減少した部分は農地変わったのかな。

8から9への変化と7のグラフから、どのようなことが考えられるかな。

持続可能な地域をめざしての一覧

タイトル	掲載箇所
未来都市シエンチェンの発展	P.50
SDGsで世界をリードするヨーロッパ	P.66
アフリカの豊かな資源がもつ可能性	P.82
アメリカと世界の未来	P.94
熱帯雨林の豊かな自然環境と経済発展	P.110
ニュージーランドにみる多文化社会	P.122
せまりくる巨大地震こそなえて	P.154
ハザードマップを活用しよう	P.155
交通・通信からみる新型コロナウイルス感染症	P.164
プロスポーツのキャンプが地域にあたえる影響ー宮崎県日南市を例にー	P.174
橋の開通に未来を「かける」ー徳島県鳴門市を例にー	P.190
歴史を大切に近畿地方の地域づくりー京都市を例にー	P.206
工業と漁業が共存する「海」ー愛知県知多半島を例にー	P.222
ニュータウンの課題と再生をめざす取り組みー多摩ニュータウンを例にー	P.238
復興の先をみずえてー東北地方の太平洋沿岸を例にー	P.254
未来をみずえた農業・漁業の取り組みーえりも・十勝を例にー	P.270



注目! **SDGsとその先を見ずえた社会についての解説**

現在取り組まれている持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標を取り上げるとともに、カーボンニュートラルやSociety5.0の概念について解説し、SDGsの先の未来を生徒が見ずえられるようにしました。

注目! **SDGsマーク**

「持続可能な地域をめざして」「地理+α」「まとめとふり返し」などの中で、SDGsと特に関連する箇所にはSDGsマークを付しています。

地域調査と地理的技能

第3編では、第1章(地域調査の手法)と第4章(地域の在り方)で地域調査を実施して調査結果をまとめ、考察・構想までを確実に進めるようにしました。また、地域調査学習で役立つのはもちろん、地理学習の基盤となる地理的技能を身につけるコーナーを充実させ、情報活用能力を高め、地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現できるようにしました。

第3編第1章 地域調査の手法

第3編第2章・第3章で用いる視点(考察の仕方)をもとに、五つの調査班に分かれて地域調査を進めます。教科書では、産業班を例に取り上げています。



第3編第1章では事例地域として京都市(伏見区)を取り上げました。修学旅行の事前学習や当日の現地での活動など、京都を訪れる際にも活用できます。

調査テーマを決めて調査計画を立てよう

調査テーマを決め、どのように調べるかを考え、調査計画を立てよう。

調査テーマを決める 調査テーマを決め、どのように調べるかを考え、調査計画を立てよう。

調査計画を立てよう 調査計画を立てよう。

調査活動の進め方 調査活動を進めよう。

地域調査の方法論を記述した、どの地域でも使える汎用的な内容

事例地域に即した具体的な調査活動の例



汎用的な内容と具体的な内容を見開きの上下に分け、背景色を変えることでわかりやすく示しました。

P.136-137

第3編第1章で身につけた地域調査の手法を、第3編第4章の学習の際も使っていただくため、地域調査の手法を確実に身につけられるよう工夫しています。



地形図の読み取り方・デジタル地図の使い方

第3編第1章では、単元の最初で、地域調査に役立つ地形図の読み取り方とデジタル地図の使い方について詳しく解説しています。

地形図のしくみと読め方を知る

地形図は、実際の地形を縮小して描いた図です。縮尺は、実際の距離と図上の距離の比を示します。

地形図の読み取り方

地形図の読み取り方について詳しく解説しています。

P.132-133

第3編第4章 地域の在り方

第3編第2章・第3章の学習を踏まえて、身近な地域のどのような課題を追究するか決定し、情報を集めて課題の解決プランを考察・構想します。そして「未来創造会議」を開いてプランを発信し、地域の方々からのコメントを踏まえてプランを改善します。このようにして社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。



第3編第4章では事例地域として宮崎市を取り上げました。地域の課題として人口減少を取り上げており、様々な地域で参考にさせていただきます。

P.292

構想した内容を発信しよう

構想した内容を発信しよう。

より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう

より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう。

スキルUP



地理の学習を進めるにあたって必要な技能を右の6種類に整理し、詳しく解説しています。発達の段階に応じて、地理的技能を系統的に身につけることができます。

- 統計資料を活用する……8、28、49、55、157
- 地図を活用する……13、23、41、97、132、134、155
- 写真を活用する……26、272
- 地理的なまとまりを身につける……11、12、17
- 地域調査の手法を身につける……131、136、137、139、140、143
- 地域の在り方を考える……284、285、289、291



解説+ 問いや活動

解説とともに、問いや活動を提示することで、地理的技能を定着させることができます。

P.41

地図を活用する③ 主題図の読み取り方①

世界の宗教の分布(「ディルケ世界地図帳」2018年)

世界の主な宗教の人口 (The World Factbook 2022)

何かの分布や変化などをくわしくあらすわす地図を、主題図といいますが、このように見ると、どの地域にどんな宗教が分布しているのを読み取ることができます。読み取りのときには、右のような点に注意しましょう。

◆地図の大きさは限られているため、分布のすべてを示していないことがあります。例えば日本には、神道やキリスト教を信仰している人もたくさんいます。

◆「面積が広い=多い」ではありません。Bを見て、仏教・ヒンドゥー教の分布の面積と、信仰する人口を比べましょう。

資料活用



地図やグラフから地理的事象を読み取ることで資料活用能力の向上を図るとともに、生徒が自分の言葉で表現することで思考力、判断力、表現力等の向上を図るコーナーを適宜設定しています。

各市区町村の最も出荷額が多い産業

- 製紙
- 化学
- 日石油製品
- プラスチック製品
- 鉄鋼
- 非鉄金属
- 一般機械
- 電子部品
- 電気機械
- 輸送機械

工業製品出荷額(2020年) [2000億円以上]

- 3兆円
- 1兆円
- 5000億円

瀬戸内とその周辺の工業 (「経済センサス」2021年)

資料活用 工業が盛んな地域の分布を、交通網の分布と比べましょう。

P.195

タイ	米	野菜	砂糖	その他
合計 70億ドル (1982年)	14.1%	14.0%	8.1%	57.6%
合計 2314億ドル (2020年)	31.4%	9.9%	6.2%	48.8%

マレーシア	石油	木材	機械類	その他
合計 120億ドル (1982年)	27.4%	16.2%	14.7%	32.2%
合計 2339億ドル (2020年)	43.4%	9.5%	6.2%	42.1%

インドネシア	石油	天然ガス	その他
合計 223億ドル (1982年)	56.5%	13.0%	24.9%
合計 1632億ドル (2020年)	10.6%	8.9%	63.5%

東南アジアの主な国の輸出品の変化 (UN Comtrade) 資料活用 鉱産資源に青色、農産物に緑色、工業製品に黄色をぬって、輸出品がどう変化したか読み取りましょう。

P.55

実践的な災害・防災教育

第3編第2章では、自然災害、防災・減災(自助・共助・公助)について詳しく学習し、それを踏まえた実践的な学習を提案するページを設けました。また、第3編第3章でも防災・減災に関する教材を充実させるように努めました。

第3編第2章 (系統地理的学習)

地震・火山災害、気象災害など日本各地で発生する様々な災害について学習するページです。

P.150



地震では大きな被害が発生することがあるんだね。

1 阪神・淡路大震災で倒壊した高速道路(1995年 神戸市東灘区) 2 東日本大震災で沿岸部をおそった津波(2011年 岩手県宮古市)

3 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分

学習課題 日本では、地域によって起こる自然災害にどのようなちがいがみられるのでしょうか。

見方・考え方 人と自然とのかわり 地域によって、自然災害の起こりやすさが異なることに着目しましょう。

地震・火山による災害 日本は環太平洋造山帯にあり、地震や津波、火山による自然災害の多い国です。地震は、規模(マグニチュード)が大きい場合、強いゆれで建物などを破壊し、土砂くずれや液状化現象を引き起こすことがあります。1995年には

防災・減災のための取り組みについて学習するページです。

P.152



1 避難場所を示す看板(2022年 奈良県王寺町) 2 避難所のようす(2019年 神奈川県厚木市) 3 中学校で行われる避難訓練(2018年 静岡県強由市) 4 建物の耐震工事(2022年 東京都東村山市) 5 自衛隊の救助活動(2019年 佐賀県武雄市)

4 災害にそなえるために

学習課題 自然災害から地域や人々の生活を守るために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか。

災害に対して、私たちはどのようなそなえができるのかな。

災害時の避難経路を考える活動を通して、ハザードマップの使い方を身につけることができるページです。

P.155

ハザードマップを活用しよう

ハザードマップは、自然災害の発生時に、どこでどのような被害になるかを想定した地図です。地震の震度、津波や洪水による浸水域や深さ、火山災害がおよぶ範囲など、災害の種類に応じてさまざまなハザードマップが発表されています。

身近な地域のハザードマップを入手して、事前に防災・減災へのそなえをしておきましょう。ハザードマップは、市町村が主に印刷して配布したり、インターネットで公開したりしています。

実践的な学習

具体的な活動により、生命や安全の確保に主体的に取り込むことができます。

災害・防災について、体系的に学習を進めていくことができます。

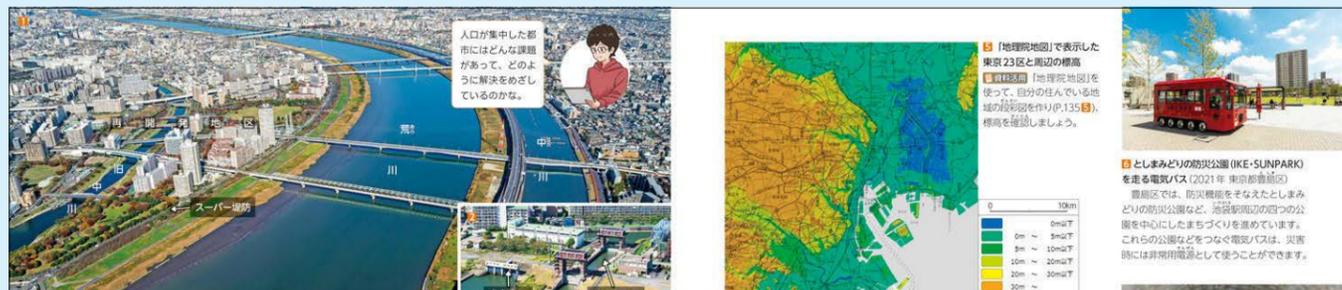
災害が発生したときの避難について、あらかじめ考えておきましょう。ここでは、『北名古屋市ハザードマップ(洪水)』を例に取り上げます。

- 地図やインターネットの地理院地図(IP.134)を見て、想定される浸水の深さが場所によって異なるのなぜか、理由を考えよう。
- から周辺の避難所まで、できるだけ安全に避難するルートを考えよう。グループに分かれて、●●●●の避難所までのルートも、それぞれ考えよう。
- クラス全員で、●から●●●●の避難所に向かうと比較的安全か、検討しよう。
- 以上の作業を参考に、所在地のハザードマップで、自宅や学校から避難所までの避難ルートを考えよう。

第3編第3章 (各地方での学習)

第3編第2章で学習した日本全体にみられる自然災害が、それぞれの地方で人々の生活にどのような影響をあたえているかを学習します。また、その地域で行われる防災・減災の取り組みを取り上げました。

P.246-247 第3編第3章第5節 関東地方



人口が集中した都市にはどんな課題があるか。このように解決をめざしているのかな。

1 地川周辺の再開発地区とスーパー堤防 2 排水機場(2020年 東京都江東区・江村) この再開発地区は、建物が密集している地域の防災拠点とするために整備されました。スーパー堤防は、幅が非常に広く、川の増水に強い堤防です。

3 小倉水川排水機場 4 市川ロックゲート

5 地理院地図で表示した東京23区と周辺の標高 6 地理院地図を使って、自分の住んでいる地域の地形図を作り(P.135) 7 標高を確認しよう。

8 ときどきの防災公園(IKE-SUNPARK)を走る電バス(2021年 東京都葛飾区) 葛飾区では、防災機能をそなえたときどきどきの防災公園など、沿線駅周辺の回りの公園を中心としたまちづくりを進めています。これらの公園などをつなぐ電バスは、災害時には非常用電源として使うことができます。

9 地下調査池(2022年 東京都杉並区・早稲田) 東京23区西部の大通りの地下30~40mほどの深さにあります。

5 持続可能な都市づくりに向けて

学習課題 東京都市面では、さまざまな課題を克服するために、どのような取り組みを行っているのでしょうか。

見方・考え方 1 過密化による課題への取り組み P.241で学習したように、東京では過密化によって、都心やその周辺でさまざまな施設を

P.265 第3編第3章第6節 東北地方

議論してみよう これから10年間の復興計画を考えよう

東日本大震災から10年以上たった現在も、被災地は復興の途上にあります。市街地や農地・港湾などの再建が進むなか、東北地方にみられる地域の課題「震災から10年以上経過した現在の課題」(P.255)を解決して持続可能な社会をつくるためには、今後どのように復興を進めていけばよいのでしょうか。何について、どのように取り組むのか、それはなぜかをグループで話し合い、被災地の「これから10年間の復興計画」を考えて提案しましょう。

私が考える復興計画は()です。

<p>事実・根拠</p> <p>【例】被災地に戻らず生活を続ける人も多く、移転・造成した新しい市街地には空き地が目立つ。</p>	<p>理由付け・考察</p> <p>【例】人口の回復は難しいのではない。</p>	<p>主張・結論</p> <p>【例】人口が大きく減少した状態が続く前提で復興計画を考えると…?</p>
---	---	---

節の学習の最後には、防災・減災の視点を踏まえた地域づくりについて構想するコーナーを設定した地方もあります。

第3編第3章の各地で取り上げた災害・防災に関わる教材の例

- 九州地方
 - 自然環境に影響を受ける人々の生活(P.176~177)
- 関東地方
 - 持続可能な都市づくりに向けて(P.246-247)
- 東北地方
 - 復興の先をみすえて-東北地方の太平洋沿岸を例に-(P.254-255)
 - 震災からの復興と災害に強い地域づくり(P.262-263)
 - これから10年間の復興計画を考えよう(P.265)

現代的な諸課題を扱った豊富な教材

教科書全体を通して、生徒が興味・関心をもち、授業設計に役立つ様々なトピックを掲載しています。現代的な諸課題や伝統・文化、多様性などについて具体的な事例を紹介し、多様な地理的事象に対する理解を深めることができるようにしました。

最新のトピックに関する教材

世界や日本で「今」起きている出来事を、地理的事象への理解を深める教材として活用できるよう、様々な具体事例を紹介しています。

新型コロナウイルス感染症

本文ページで適宜新型コロナウイルス感染症による影響について触れるとともに、交通・通信から新型コロナウイルス感染症について考えることができる特設ページを第3編第2章に設定しました。

P.164-165

様々な技術と人々の生活

ドローンによる配達の実証実験や、自動運転バス、垂直農法など、様々な最新技術を取り上げ、それらが人々の生活にどのような影響を与えているのか考えられるように工夫しています。



3 ドローンによる山間部への配達の実証実験 (2023年 奈良県奈良市) 山間部での生活を便利にするための取り組みです。



11 垂直農法で栽培される牛の飼料 (2021年 アメリカ/ユタ州)



2 商用化に向けて試験運転を重ねる自動運転バス (2022年 中国/シエンチェン)



6 電動キックスクーターで移動するようす (2022年 アメリカ/ネバダ州)

地理 + ICTで交通問題を解決

自動車以外の交通手段で移動する場合、最寄りの鉄道駅やバス停から目的地までのあいだの移動が不便な場合があります。「ラストワンマイル問題」とよばれているこの問題を解決する方法として、アメリカの都市ではICTを活用した電動キックスクーターのシェアサービスが急速に広がっています。専用のアプリケーションによって、電動キックスクーターの位置情報を確認し、近くにあるものを使用して、使用後に自分が止めた場所を登録することで次の利用者が使えるようになります。このしくみは人々の生活を便利にするだけでなく、環境への負担を減らすことにもつながります。アメリカだけでなく、SDGsへの取り組みに関心が高いヨーロッパでもこのしくみが広がっています。



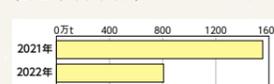
6 電動キックスクーターで移動するようす (2022年 アメリカ/ネバダ州)

ロシアによるウクライナ侵攻

第2編第2章第2節(ヨーロッパ州)では、ロシアによるウクライナ侵攻についてのコラムを設定しています。また、資源・エネルギーの面からもロシアとヨーロッパ諸国の関係について取り上げています。



4 ウクライナ産の小麦の輸出 (2022年 ウクライナ)



5 ウクライナ産の小麦の輸出の変化 (MINISTRY OF AGRARIAN POLICY AND FOOD OF UKRAINE)

P.75

地理 + ICTでウクライナ問題でゆるくヨーロッパ

ウクライナは、P.69のようにソ連を構成していた国の一つで、ロシアと国境を接しています。豊かな穀倉地帯が広がっており、とうもろこしや小麦などの生産量が多く、世界に輸出しています。第二次世界大戦後、アメリカや西ヨーロッパの国々と、ソ連や東ヨーロッパの国々は、それぞれ軍事的同盟をつくって対立してきました。1991年のソ連の分裂後も、アメリカを中心とする軍事的同盟(北大西洋条約機構(NATO))は存続し、東ヨーロッパの国々もNATOに加盟していきました。ロシアは、こういったうごきに対していました。2022年に、ロシアがウクライナに侵攻し、はげしい戦闘が続きました。ロシアが侵攻した背景には、ウクライナがロシアから距離をおいて、西ヨーロッパの国々と関係を深めようとしたことがかかわっています。ヨーロッパでは第二次世界大戦以降、国どうしが全面的に戦うことがなかったため、人々は大きな衝撃を受けました。ロシアのウクライナ侵攻を受けて、ヨーロッパの多くの国々はロシアに強く抗議しています。

2.2 EUROPPA

SDGsに取り組むヨーロッパ

P.66

「欧州グリーン・ディール」の政策分野

- ①クリーン・エネルギー エネルギーの生産と消費による二酸化炭素の排出量を減らす
- ②持続可能な産業 競争力と環境保全の両立をめざす
- ③エネルギー・資源効率的な建築および改修 エネルギーや資源の消費が少ない建物への移行
- ④持続可能でスマートなモビリティ 輸送の際の二酸化炭素の排出量を減らす
- ⑤生物多様性および生態系の保全 生物多様性、森林や海洋の保全に取り組む
- ⑥農場から食卓まで 自然への影響を抑えながら安全で高品質の食品を生産する
- ⑦汚染ゼロ 大気、水、土壌の汚染を防止する

コロナを経験した社会の変化

P.163



5 自宅でテレワークをしている人とのリモート会議のようす (2022年 札幌市中央区)

現代的な諸課題を扱った豊富な教材

多様性について考えることができる教材

コラムを多数設定し、多様な人々が共生している事例を取り上げています。様々な背景をもつ人々と共生しようとする態度を養うことができます。

多様性の尊重

世界の事例を取り上げ、日本と比較して考えを深められるようにしました。



P.125

地理 +α **性的少数者に配慮した社会へ**

オーストラリアやニュージーランドでは、LGBTなどの性的少数者に配慮した社会づくりが進められています。ニュージーランドでは、2013年に同性婚を認める法案が成立しました。オーストラリアでも、2017年に同性婚について任意参加の国民投票が行われました。約80%の国民が投票に参加し、過半数が同性婚に賛成したことを受けて、同性婚が合法化されました。

4 投票で過半数が同性婚に賛成したことを喜ぶ人々(2017年 オーストラリア)

世界・日本の多文化共生

身近にある多文化共生の例を知ることで、多文化共生社会の重要性を認識できるようにし、他国を尊重し、様々な文化的背景をもつ人々と共生しようとする態度を養えるようにしました。



10 コリアタウン(2022年 大阪市生野区)

関西国際空港は、国際線の航空機の発着などを行う、西日本から世界への玄関口です。大阪湾の埋立地に建設され、鉄道や高速道路で大阪市の都心部と結ばれています。

大阪市生野区には、韓国・朝鮮の料理店や商店がならぶコリアタウンがあります。かつて、日本の植民地政策のもとで移住してきた人々が集まって生まれた街です。現在では整備が進み、観光客でにぎわっています。コリアタウンの歴史を学ぼうと、フィールドワークでおとずれる人や修学旅行生なども増加しています。

3 3 近畿地方

P.211

地理 +α **多文化共生社会をめざして**

大泉町(群馬県)では、ブラジルなどから来た多くの日系人が働いています。人口に占める外国人の割合は約2割で、ポルトガル語で書かれた看板やブラジルの食料品を売る店がたくさんあります。町では、日本の制度・文化の紹介をしたり、ポルトガル語版の広報紙を発行したりして、異なる文化や考えをもつ人々とともに生活する**多文化共生社会**をつくる取り組みを進めています。

4 ブラジルの食料品をあつかうスーパーマーケット(2019年 群馬県大泉町)

(2022年)	0%	20	40	60	80	100
全体	日本国籍 80.3% 外国籍 19.7					
合計	4万1729人					
外国籍	ブラジル 56.1% ベル 13.0% その他 17.0					
合計	8215人					
	ベトナム 5.3 ネパール 4.9 ライピン 3.7					

5 大泉町の人口(「大泉町統計」2022年)

P.245

伝統・文化を捉えることができる教材

世界や日本における伝統・文化の現状と、それを守り、未来へ継承していく人々の取り組みについて、随所に写真、コラムなどを設定しました。

アイヌの人々の文化

アイヌの人々について、歴史的な背景を解説するとともに、歴史や文化の復興のうごきについて記載しています。また、教科書QRコンテンツでアイヌの人々について知ることができるWebサイトへのリンクを多数ご案内しています。



大きな写真によって、伝統的な儀式や衣服の様子を読み取ることができます。



P.278

5 自然環境との共生をはかるために

アイヌの人々から学ぶ 自然環境との共生

アイヌの人々は、独自の言語を話し、独自の文化を築き上げてきました。アイヌの生活や文化は、森林や自然環境と人々の共生について考える大切な機会になります。

北海道は、古くは**蝦夷地**とよばれ、アイヌ民族の生活する土地でした。アイヌの人々は、独自の言語を話し、独自の文化を築き上げてきました。江戸時代になると、渡島半島の南部にあった**松前藩**の管理が厳格になりました。明治時代には、政府が北海道に**開拓使**という役所をつくりました。日本の北方を警備するための兵士と農家の役割をかねた**屯田兵**がおかれ、全国から北海道に移住する人々が集まりました。森林や原野の開拓や、鉄道・道路の建設が進められました。その結果、アイヌの人々は土地をうばわれて大きな打撃を受けました。

現在では、多民族国家・日本の先住民族であるアイヌ民族の文化

278 歴史 租人(アイヌ民族ではない日本人)とアイヌ民族のあいだには、どのような歴史的関係があったのでしょうか。

高千穂郷・椎葉山地域の伝統的農業

注目! 伝統・文化を継承する人々の取り組みを取り上げています。



P.179

弘前ねぶたまつり

弘前ねぶたまつりを運営している 榎田さんの話

ねぶたは、弘前の地に古くから根づいてきた文化です。ねぶたが確認できる最も古い資料は、約300年前の江戸時代までさかのぼります。当時の弘前藩の藩主が、弘前の城下で記録になった記録が残っています。そこから青森や黒石、五所川原などに広がり、各地に合った形に変わっていきました。ねぶたには、本来あるべき姿は残しつつ、変化してきたものもあります。ねぶたを内部から照らす明かりは、初めはろうそくでしたが、やがて電球となり、今ではLEDになってきています。

P.258

現代的な諸課題を扱った豊富な教材

SDGsについて考えられる教材

SDGsについて考えられる教材を随所に設定し、SDGsと特に関連する箇所にはマークを付しています。

住み続けられるまちづくり

P.263

地理 + **SDGs** **新しいまち「野蒜ヶ丘」**

東松島市野蒜地区は、石巻湾に面した地区です。東日本大震災の津波で、住宅などの多くの建物や鉄道が大きな被害を受けました。そこで、集落の中心部を、鉄道とともに丘陵地の高台に移転させました。震災から5年以上たった2016年に新しい市街地である「野蒜ヶ丘」の整備が完了し、2017年には「野蒜ヶ丘まちびらきまつり」が開催されました。野蒜ヶ丘には、野蒜地区で被災した人を中心に、各地から人々が移り住んでいます。

東松島市は、計画の早い段階から野蒜地区の人々と話し合いを重ね、住民と行政が協力して新しいまちづくりを進めました。そして、整備された野蒜ヶ丘では、住民による自治会活動が始まりました。自治会やまちづくり協議会が中心になって、祭りやコンサートなど、住民どうしが交流できるさまざまなイベントが行われています。

地域活性化・技術の伝承

P.215

地理 + **SDGs** **林業の歴史と未来**

古くから都市が発展した近畿地方では、大量の木材が必要になり、林業が発展しました。紀伊山地の吉野地方や尾道では、杉やひのきを植林して、間伐をくり返す林業が盛んです。しかし、安い輸入木材との競争や、建築様式の変化などで木材価格の低迷が続く、産業の活力が失われつつあることが課題です。

黒滝村では、生産した杉やひのきの加工を、村に任命された「地域おこし協力隊」が協力して行っています。木材を加工、販売するだけでなく、林業や木材の加工をいっしょに楽しむような体験活動や観光を通じて、黒滝村に人をよびこむ取り組みも進められています。原木にふれたり、生木のまま加工したりできる生産地ならではの活動は、伝統産業の技術の伝承や地域経済の活性化、林業従事者の後継者不足の解消につながることを期待されています。

5 吉野杉の板を使って中学校の机を作る体験活動(2022年 奈良県奈良市)

4 林業体験にむかう人々(2022年 奈良県黒滝村)

環境問題・環境保全について考えられる教材

持続可能な農業をめざして

P.115

地理 + **SDGs** **持続可能な農業をめざして**

現代的な農業は、農業や肥料を大量に使用します。そのため、生態系に影響が生じたり、農業にお金がかかり貧富の差が拡大したりします。そこで、生態系の維持や健康で平等な社会を目的とした持続可能な農業が求められるようになってきました。

南アメリカの先住民の伝統的な農業は、さまざまな種類の植物を栽培することで、害虫の天敵を引きよせて食害を防いだり、ある植物が天候の不順で収穫できなくてもほかの植物の収穫ができるようにしたりしてきました。こ

世界や日本の各地でみられる地球的課題・地域の課題である環境問題について、その現状や環境保全に取り組む人々の努力を随所に取り上げています。

生まれ変わった水俣市

P.183

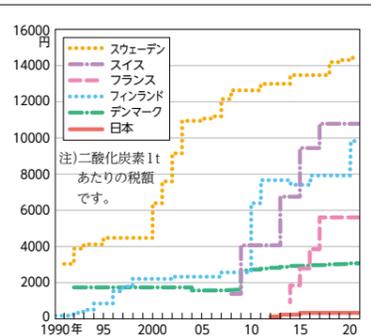
地理 + **SDGs** **生まれ変わった水俣市**

水俣市では、1950～60年代にかけて、四大公害の一つである水俣病が発生しました。化学工場から海に流された排水に含まれるメチル水銀が魚にとりこまれ、その魚を日常的に食べていた人々が被害を受けました。その後、水俣湾では、環境を回復させるための取り組みが行われました。汚染された泥が取り除かれ、魚の安全性が確かめられて、再び漁業を行うことができるようになりました。

現在、水俣市では、公害によってそこなれた地域社会の絆を取りもどす「もやい直し」を合い言葉に、ごみの分別回収の徹底、堆肥化をはかる事業などが進められています。水俣市は、公害を乗り越えた環境モデル都市として、全国から注目を集めています。

4 ごみの分別回収の取り組み(2016年 熊本県水俣市)

6 九州地方で持続可能な社会づくりに向けた先進的な取り組みを進めている地域(内閣府資料ほか)



7 ヨーロッパ各国と日本の主な環境に悪影響をおよぼす物質への課税(「炭素税・国境調整措置を巡る最近の動向」)

人権、平和・命の尊さに関する教材

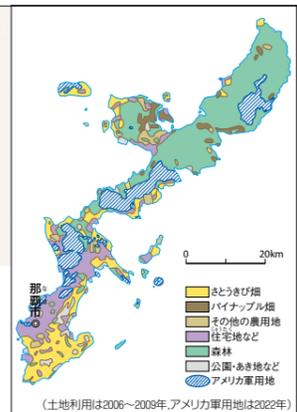
最新の事例に目配りしながら、人権や平和について自分自身に関わる課題として捉えられるように教材を多数設定しています。

沖縄の基地と人々の生活

P.181

沖縄は、第二次世界大戦末期には激戦地となり、多くの犠牲者を出しました。そのなかには、たくさんの民間人も含まれていました。終戦後、1972年までアメリカ軍の軍政下におかれていました。日本とアメリカの取り決めにより、現在でも、沖縄県内にはたくさんのアメリカ軍基地があり、基地の面積は、日本全体の約7割を占めています。

基地の存在による安全保障上の利点や沖縄県への経済効果がある一方で、基地のある地域では、日常的な軍用機の騒音、墜落事故、基地の整備にともなう環境破壊などが、人々の生活の負担になっています。



6 沖縄県の土地利用(沖縄県知事室・企画部資料) 沖縄島の約15%が基地になっています。**資料活用** 主な軍用地の大きさがどのくらいあるか、地図中のスケールを使ってはかりましょう。

平和記念都市・広島市

広島市は、第二次世界大戦末期の1945年に原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。戦後は復興をとげ、平和記念都市となりました。原子爆弾の悲惨さを忘れないために保存されているのが、世界文化遺産に登録されている原爆ドームです。被爆者の高齢化で被爆体験の語りつぎが難しくなるなかで、さまざまな取り組みが行われています。その一つが「ヒロシマ・アーカイブ」です。デジタル地図の技術を生かして、当時の地図や航空写真に人々の体験談や当時の写真などの資料を重ね合わせて見ることができます。



P.195

日本の領域について考えることができる教材

3 日本の領域の特色をとらえよう

日本の領域は、領土・領海・領空から構成されています。領土とは、陸地である領土と、領土に接する海域である領海と、領土と領海との空間である領空からなります。日本は、領土の面積から12万km²(約2200万ha)を領海と定めています。領空は、人工衛星の軌道あたりまでとされています。さらに、海軍艦から200海里(約370km)までの範囲のうら、領海を越えて領空を飛行する航空機も含まれます。この範囲の領空は領空と領空は、自衛隊で運用されていることになっています。

日本の領土は、北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島と、周辺の伊豆諸島、小笠原諸島、南西諸島などの小さな島々から成り立っています。領土面積は約37万8000km²で、ユーラシア大陸の東に、列島が南北に伸びています。日本には、降島、南鳥島、北鳥島、大鳥島、小鳥島など、多くの島嶼があります。領土の面積は領土面積の約10%以上にもなります。日本の領土・領海・領空は、領土・領海・領空を合わせた面積は、世界的にも大変広いほうです。

P.18-19

4 日本の領域をめぐる問題をとらえよう

領土・領海・領空の確保は、国家の存続にとって重要な課題です。領土・領海・領空の確保は、国家の存続にとって重要な課題です。領土・領海・領空の確保は、国家の存続にとって重要な課題です。

P.20-21

日本の領域についての学習では、北方領土・竹島の領土問題や尖閣諸島には領土問題が存在しないことを、わかりやすく詳しく説明するとともに、日本固有の領土であることを明記しました。

2 領土問題の現状

第二次世界大戦後の1945年のサンフランシスコ講和条約で、中華民国の領土から、北方領土と竹島が日本の領土であると規定されています。日本は、この条約の内容を踏襲して、北方領土と竹島の領土問題を国際社会に訴えています。

北方領土では、領土問題の解決に向けて、元島民を含む日本と北方領土に住むロシア人が交流を促してきました。竹島については、この問題を領土問題として取り上げるようには同意していません。

3 尖閣諸島

尖閣諸島は、領土問題の焦点の一つです。領土問題の焦点の一つです。領土問題の焦点の一つです。

ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎明」[ヒラギノUD角ゴF](株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

気候によって異なる農業

ヨーロッパでは、地域ごとに自然環境に応じた農業が行われています。冷涼なヨーロッパ北部や山岳地域では、畜産や酪農が盛んです。アルプス山脈より北側では、小麦、ライ麦、じゃがいもなどの栽培に、豚、牛などの家畜の飼育を組み合わせた**混合農業**が行われてきました。現在は、い

UD黎明

P.71/原寸

ルビについて

小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、重要語句には、すべてルビをつけました。ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

ヒラギノUD角ゴF

「図版番号」について

図版には番号を付し、授業の際に使いやすくなりました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、本文と図版を関連させて読み取ることで、よりよく理解できるようにしています。

「単元カラー」とインデックス

各単元で基本色となる「単元カラー」を設定し、デザインを統一しています。また、ページの右端にインデックスを設け、現在学習している単元を常に参照できるようにしています。



教科書の軽量化への取り組み

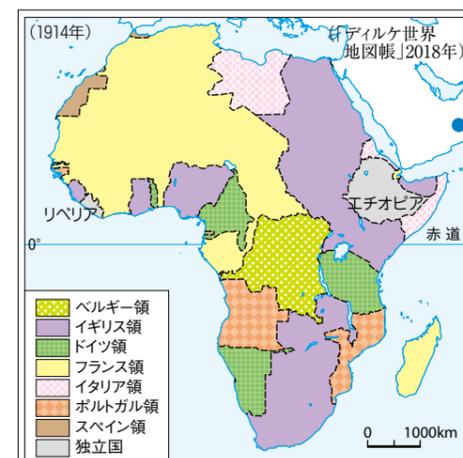
生徒の持ち運びの負担を軽減するために、良質で軽い紙を採用しています。それでいて十分な強度を持ち、裏写りが少なくなるよう工夫しています。



カラーユニバーサルデザインへの対応

特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)に校閲をお願いし、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮しました。

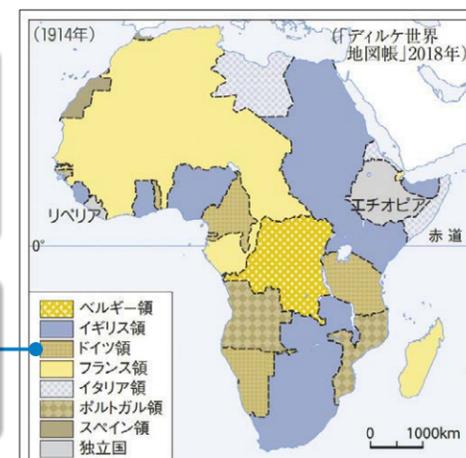
CUDへの対応の例



6 アフリカの植民地支配のようす

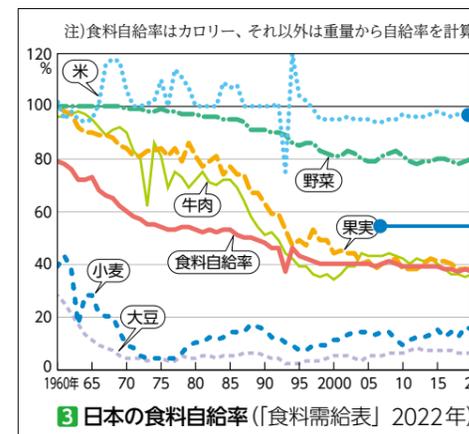
P.81/原寸

例：1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション



6 アフリカの植民地支配のようす

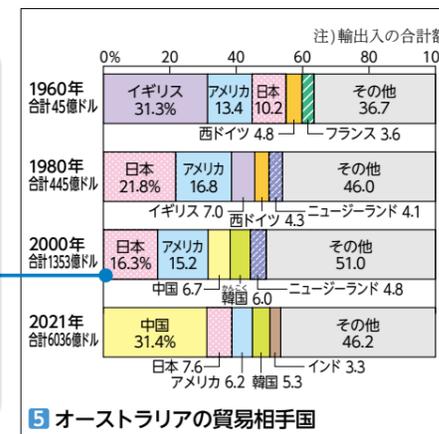
P.81/原寸



3 日本の食料自給率(「食料需給表」2022年)

P.160/原寸

- 折れ線の色だけでなく線種を変更し、違いを明確にしています。
- 凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。
- 帯グラフや円グラフは細かい黒線で区切り、模様を付けるなどして読み取りやすくしています。



5 オーストラリアの貿易相手国

P.125/原寸

学習者用デジタル教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

学習者用デジタル教科書には、総ルビ表示やリフロー表示、色反転、機械音声読み上げなど生徒一人一人の状況に応じて利用できる様々な機能を搭載しています。

詳しくは本冊子P.44をご覧ください。

拡大教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

22pt/B5判

26pt/A4判

3分野で統一した構成・デザイン

学びやすく教えやすい教科書づくりを意図して、単元や紙面の構成を3分野で統一しました。

導入ページ

地理 P.144-145

第3編第2章の問い
日本にはどのような特色があり、それらの特色からどのように地域区分できるのでしょうか。

歴史 P.154-157

第5編第1章の問い
大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのような点にあらわれているのでしょうか。

公民 P.38-39

第2編第1章の問い
私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

単元を貫く問い 導入ページで活動を通して編・章・節の問いを立て、学習の見通しをもてるようにしています。
→本冊子P.6～7、10～11

本文ページ

地理 P.152-153

4 災害にそなえるために
自然災害から地域の人々の生活を守るために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか。

歴史 P.196-197

1 列強の動向とアジア - 開港点をめぐって -
なぜ、日本はこの時期に開港点を実現することができたのでしょうか。

公民 P.40-41

1 私たちにとっての政治と民主主義
なぜ政治は民主主義によって行われるべきなのでしょうか。

学習課題と見方・考え方 毎時間で追究する問いを設定するとともに、学習課題の解決に向けて手がかりになる見方・考え方を設定しています。
→本冊子P.12～13

まとめ・ふり振り返りページ

地理 P.166-167

知識の確認と問いの解決、学習のふり振り返り

歴史 P.212-213

公民 P.80-81

左ページで知識を確認し、右ページで単元を貫く問いを解決して、最後に学習をふり振り返ります。
→本冊子P.14～15

小学校社会科、歴史的分野・公民的分野との連携

小学校での既習事項や他分野の内容を多数掲載することで、相互に連携・関連させながら学習できるようにしました。

歴史的分野との連携

16世紀から19世紀にかけて、堺は日本有数の鉄砲の産地でした。鉄砲の需要が減ると、職人は刃物作りに移っていきました。堺打刃物は現在も世界じゅうの料理人に愛用される伝統的工芸品です。鉄砲職人の技術を生かすことで、堺では自転車工業も盛んになりました。

3000円 2500円 30万円 25万円

P.213

小学校で学習した内容

4年 自然災害から人々を守る活動
5年 日本の自然環境の特色
日本の農林水産業、工業、情報
日本の災害・防災、環境保全

P.145

公民的分野との連携

さまざまな国際協力の試み
アフリカの国々の課題には、それぞれの国だけでは解決できないものが多いため、国際連合(国連)をはじめとするさまざまな国際協力の取り組みが必要になります。アフリカのなかでの政治的・経済的な結びつきの強化や紛争の解決をめざしてつくられたアフリカ連合(AU)もその一つです。アメリカやヨーロッパなどの先進国や中国も、さまざまな支援を行っています。特に21世紀になってから、アフリカの国々は、鉱産資源の開発、道路・工場・港湾の建設、通信設備の整備などで中国との協力関係を深めています。中国が最大の貿易相手国になっている国も少なくありません。

P.87

小学校社会科でどんな内容を学んできたのか、他分野でどんな内容を学ぶのかをわかりやすく示す**連携コーナー**を、脚注に設定しました。

小学校社会科との連携

- 小学校5年 自動車工業では、どのように自動車を生産していたのでしょうか。 P.224

歴史的分野・公民的分野との連携

- 歴史 近畿地方が日本の政治・経済・文化の中心だった時代はいつごろでしょうか。 P.208
- 公民 世界の国際組織や地域統合のようすは、3年生の公民的分野でも学習しましょう。 P.68

他教科との関連

他教科と関連のある教材を多数掲載しました。地域や生徒の実態に合ったカリキュラム編成に役立ちます。

数学との関連

統計資料を活用する④
折れ線グラフは、変化を示すグラフです。折れ線の数を増やせば、一度に複数のものの変化を示すことができます。変化のしかたを比べることができます。

中国とASEAN諸国への日系企業の進出数(海外進出企業総数) 2022年(ほか)

P.55

特別の教科 道徳との関連

2 手話通訳者とともに行われる政府関係者の会見(2020年 ニュージーランド)

P.122

近畿地方

- 三重県 濃尾平野、輪中(P.221) [写真] 三角州、リアス海岸(津市・松阪市・志摩市、P.146-147) 松阪牛(松阪市、P.203)
滋賀県 琵琶湖・淀川水系、環境保全(P.203・204・209)
京都府 地域調査の手法、観光、祇園祭、街なみ、伝統文化(京都市、P.130-143・165・202・206-209・213-215) 宇治茶、平等院の参道(宇治市、P.209) 関西文化学術研究都市(精華町、P.212)
大阪府 大阪の歴史、大阪・関西万博、大阪の都心、都心部の再開発、コリアタウン(大阪市、P.210-211) 百舌鳥・古市古墳群、泉北ニュータウン、堺の歴史、伝統産業(堺市、P.202・205・210・213) [写真] 千里ニュータウン(豊中市・吹田市、P.205) 百舌鳥・古市古墳群(羽曳野市・藤井寺市、P.202) [写真] 中小企業(東大阪市、P.213) 関西国際空港(泉佐野市・田尻町・泉南市、P.211)
兵庫県 阪神・淡路大震災(P.150・211) 神戸の歴史、都市開発、神戸医療産業都市(神戸市、P.205・211・212) 工業地域(加古川市、P.161) 姫路城(姫路市、P.168) Spring-8(佐用町、P.212) コウノトリ(豊岡市・養父市、P.203)
奈良県 ドローン、地形図学習、奈良の歴史、伝統産業、街なみ(奈良市、巻頭2・P.132-135・208-209・213・215) 吉野山の桜、林業(吉野町・黒滝村、P.203・215)
和歌山県 飛び地の北山村(P.23) みかん(有田川町、P.202)



世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群(上:2020年 堺市、下:2019年 大阪府羽曳野市・藤井寺市) 大阪府南部の堺市・羽曳野市・藤井寺市には、多くの古墳が密集しています。巨大な前方後円墳がこれほど集中している地域はほかにはなく、重要な歴史の遺産があります。



濃尾平野の西部(2020年 三島町・越前町・美加町) これらの川は「木曾三川」とよばれています。濃尾平野をうるおし、農業や人々の生活に役立っています。

中部地方

- 新潟県 越後平野に広がる水田(弥彦村、P.228)
富山県 アルペンルート、黒部ダム(立山町、P.169・229) 高岡銅器、アルミサッシ工場(高岡市・射水市、P.228)
石川県 金箔作り(金沢市、P.229) 白米千枚田、輪島塗(輪島市、P.219・229)
福井県 眼鏡枠作り(鯖江市、P.223・229)
山梨県 扇状地、中央リニア新幹線(甲州市・笛吹市、P.146・219) AIを使ったぶどうの収穫(山梨市、P.226)
長野県 戸隠そばのそば打ち体験(長野市、P.227) レタスの収穫(川上村、P.226)
岐阜県 白川郷の合掌造り(白川村、P.218)
静岡県 茶の生産・収穫(P.230) 焼津港(焼津市、P.231)
愛知県 濃尾平野、輪中(P.221) [写真] 名古屋市の都心部(名古屋市、P.221) ハザードマップの使い方(北名古屋市、P.155) 新型国産ロケット(飛島村、P.225) 埠頭と自動車運搬船、工業と漁業が共存する海、航空機主翼の輸出(東海市・知多市・半田市・常滑市、P.218・222・225) 自動車工業(豊田市、P.224)



チームを応援する油津商店街(2019年 宮崎県日南市)

九州地方

- 福岡県 壁面緑化ビル、福岡市の都心部、雨水トンネル、水不足へのそなえ(福岡市、P.149・171・176-177) 環境首都、工業と公害(北九州市、P.182-183) AIで判別して収穫するロボット(久留米市、巻頭2) 山本作兵衛の炭鉱記録画(田川市、P.182)
佐賀県 干潟ののりの養殖(佐賀市、P.179) 遠隔授業のようす(上峰町、P.165) 自衛隊の救助活動(武雄市、P.152) ガタリンピック(鹿島市、P.173)
長崎県 西九州新幹線の開業(P.171・195)
熊本県 熊本城と市街地(熊本市、P.171) 台湾企業の半導体工場建設(菊陽町、P.183) 生まれ変わった水俣市、分別回収(水俣市、P.183)
大分県 一村一品運動(P.179) 湯布院(由布市、P.175) 太陽光発電所、関あじ・関さば(大分市、P.177・179) 湯けむりがたちのぼる街なみ(別府市、P.170)
宮崎県 促成栽培、地域の在り方(宮崎市、P.178・282-292) 高千穂郷・椎葉山地域の伝統農法(椎葉村、P.179) 肉牛の飼育(えびの市、P.170) プロスポーツのキャンプ(日南市、P.174) [写真]
鹿児島県 桜島、防災訓練(鹿児島市、P.176-177) シラス台地、黒豚の飼育(鹿屋市、P.171・178) 屋久島(屋久島町、P.173) カヌーツアー、金作原原生林(奄美市、P.180-181)
沖縄県 観光業、歴史と文化、基地と生活(P.180-181) 水納島、さんご礁のビーチ(本部町、P.168・180) 琉球王国時代から続く組踊(浦添市、P.181) 沖縄の伝統的な住居(竹富町、P.177)

北海道地方

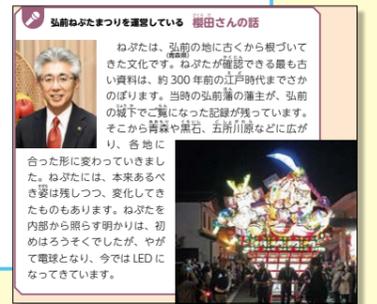
- 北海道 アイヌの人々から学ぶ自然環境との共生(P.278-279) さっぽろ雪まつり、木育フェスタ、札幌市の発展(札幌市、P.266・273) 新千歳空港(千歳市、P.273) 五稜郭(函館市、P.267) [写真] 「えりも砂漠」の緑化(えりも町、P.270) スマート農業、畑作、地域循環型農業(十勝地方、P.270・274-275)



五稜郭(2022年 函館市) 江戸時代末期につくられたヨーロッパ式の城郭です。現在は公園として人々に親しまれています。

東北地方

- 青森県 弘前ねぶたまつり(弘前市、P.258) [写真] こみせ(黒石市、P.259)
岩手県 震災からの復興(陸前高田市・南三陸町、P.250-251・254-255) 震災を伝承していく取り組み(宮古市・陸前高田市、P.262)
宮城県 SENDAI光のページェント、杜の都、震災を伝承していく取り組み(仙台市、P.251・261・263) 震災復興の街づくり(東松島市・岩沼市、P.262-263)
秋田県 洋上風力発電所(能代市、P.253)
山形県 庄内平野、農業の6次産業化(鶴岡市、P.256-257)
福島県 東北絆まつり(福島市、P.250)



弘前ねぶたまつりを運営している 榎田さんの話 ねぶたは、弘前の地に古くから根づいてきた文化です。ねぶたが復活できる最も古い資料は、約300年前の江戸時代までさかのぼります。当時の弘前藩の藩主が、弘前の城下で鑑になった記録が残っています。そこから青森や黒石、五所川原などに広がり、各地に合った形に変わっていききました。ねぶたには、本来あるべき姿は残しつつ、変化してきたものもあります。ねぶたを内部から照らす明かりは、初めはろうそくでしたが、やがて電球となり、今ではLEDになってきています。

関東地方

- 茨城県 鹿島港と工業地域(神栖市・鹿嶋市、P.235) 筑波研究学園都市(つくば市、P.247)
栃木県 北関東工業地域(鹿沼市、P.244)
群馬県 赤城山と屋敷林(前橋市・桐生市、P.237) 多文化共生社会をめざして(大泉町、P.245) 高齢化率「日本一」の村(南牧村、P.234・241)
埼玉県 さいたま新都心(さいたま市、P.247)
千葉県 河川の県境(浦安市・市川市、P.22) 火力発電所とタンカー(富津市、P.158) 「チバニアン期」の由来になった地層(市原市、P.235)
東京都 東京駅、霞が関(千代田区、P.234・242) 都心の商業地区(中央区、P.240) 新宿駅、副都心・新宿(新宿区、P.168・240) 東京港、臨海部の高層マンション(江東区、P.162・241) 荒川の治水(江東区・江戸川区、P.246-247) [写真] 地下調整池(杉並区・中野区、P.247) としまどりの防災公園(豊島区、P.247) 多摩ニュータウン(八王子市・町田市・多摩市・稲城市、P.238-239)
神奈川県 横浜中華街、新横浜線の開業、京浜工業地帯(横浜市、P.235・241・244) 避難所のようす(厚木市、P.152)



大嶋門橋の近くにある大塚国際美術館(2020年 徳島県鳴門市)

中国・四国地方

- 鳥取県 鳥取砂丘(鳥取市、P.187) 第三セクター(若桜町、P.198) 水木しげるロード(境港市、P.193)
島根県 「島留学」の制度(海士町、P.199)
岡山県 洪水のようす、瀬戸大橋、石油化学コンビナート(倉敷市、P.151・192・194) 家具工場(西粟倉村、P.199)
広島県 平和記念都市、原爆ドーム、ヒロシマ・アーカイブ(広島市、巻頭1・P.195) 鞆の浦(福山市、P.189) 瀬戸内しまなみ海道(尾道市、P.186)
山口県 石油化学コンビナート(岩国市、P.194)

- 徳島県 本州に向かう高速バス、インターネットと地域活性化(徳島市、P.186・199) ICT関連企業の進出(神山町、P.198) 大嶋門橋、企業城下町、大塚国際美術館、すだちぶり(鳴門市、P.190・197) [写真] つまもの(上勝町、P.197)
香川県 瀬戸大橋、番の州臨海工業団地(坂出市・宇多津町、P.192・195) ため池の多い讃岐平野(丸亀市・善通寺市、P.187) オリブの収穫(小豆島町、P.186)
愛媛県 瀬戸内しまなみ海道(今治市、P.186) みかん畑(八幡浜市、P.196)
高知県 ゆず製品(馬路村、P.187) 津波避難タワー(黒潮町、P.154)



荒川周辺の再開発地区とスーパー堤防、排水機場(2020年 東京都江東区・江戸川区) この再開発地区は、建築物が密集している地域の防災拠点とするために整備されました。スーパー堤防は、幅が非常に広く、川の増水に強い堤防です。

● 学習指導要領との対照表・配当授業時数

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
持続可能な社会と私たち 地理的な見方・考え方って？	A～C	巻頭1～2 巻頭3～4	1
第1編 世界と日本の地域構成	A(1)	P.2～25	12
第2編 第1章 世界各地の人々の生活と環境	B(1)	P.26～43	9
第2編 第2章 世界の諸地域	B(2)	P.44～129	27
第1節 アジア州 ―人口や経済発展をテーマに― ※「学習のはじめに」を含む	B(2)	P.44～61	(5)
第2節 ヨーロッパ州 ―国境をこえた統合をテーマに―	B(2)	P.62～77	(5)
第3節 アフリカ州 ―自立のための開発と国際協力をテーマに―	B(2)	P.78～89	(3)
第4節 北アメリカ州 ―世界に影響をあたえる産業をテーマに―	B(2)	P.90～105	(5)
第5節 南アメリカ州 ―開発と環境保全をテーマに―	B(2)	P.106～117	(3)
第6節 オセアニア州 ―多文化社会をテーマに― ※第2編第2章の「まともとふり返り」は、6州のうち3州で行うことを想定しています。	B(2)	P.118～129	(3) ※(3)
第3編 第1章 地域調査の手法 ―京都市伏見区を例に―	C(1)	P.130～143	6
第3編 第2章 日本の地域的特色と地域区分	C(2)	P.144～167	11
第3編 第3章 日本の諸地域	C(3)	P.168～281	38
第1節 九州地方 ―自然環境をテーマに― ※「学習のはじめに」を含む	C(3)	P.168～185	(5)
第2節 中国・四国地方 ―交通・通信をテーマに―	C(3)	P.186～201	(5)
第3節 近畿地方 ―歴史的背景をテーマに―	C(3)	P.202～217	(5)
第4節 中部地方 ―産業をテーマに―	C(3)	P.218～233	(5)
第5節 関東地方 ―人口や都市・村落をテーマに―	C(3)	P.234～249	(5)
第6節 東北地方 ―持続可能な社会づくりをテーマに―	C(3)	P.250～265	(5)
第7節 北海道地方 ―自然環境をテーマに― ※第3編第3章の「まともとふり返り」は、7地方のうち3地方で行うことを想定しています。	C(3)	P.266～281	(5) ※(3)
第3編 第4章 地域の在り方 ―宮崎市を例に―	C(4)	P.282～292	5
		(※予備時間：6時間)	
		合計	109

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

● 観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
2	2	P.74	豊かさを求めて移住する人々(多文化社会)	2	2	P.125	性的少数者に配慮した社会へ(オセアニア)
		P.85	広がるフェアトレード(アフリカ)			P.129	あなたの考える多文化社会って？(オセアニア)
		P.93	フランス語と英語が併記された空港の案内(北アメリカ)	3	3	P.211	世界とつながる近畿地方(コリアタウン)
		P.113	都市問題と改善への取り組み(スラム)			P.245	多文化共生社会をめざして(大泉町)
P.122	ニュージーランドにみる多文化社会	P.278-279	アイヌの人々から学ぶ自然環境との共生				

2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
2	1	P.26-43	世界各地の人々の生活と環境	2	2	P.86-87	民主的な社会の実現に向けた課題(アフリカ)
2	2	P.59	くり返される紛争(西アジア・中央アジア)			P.112	ペルーに住む日系人の我那覇さんの話
		P.68-69	国境をこえた統合のあゆみ(ヨーロッパ)	3	3	P.181	沖縄の基地と人々の生活
		P.75	ウクライナ問題でゆるぐヨーロッパ			P.195	平和記念都市・広島市

3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
3	1	P.136-143	産業班の調査(酒造業)(京都市)	3	3	P.208-209	千年の歴史をもつ京都 日本の歴史のふるさと、奈良
3	3	P.180-181	沖縄の歴史と独自の文化			P.212-213	伝統を生かした産業と世界進出(近畿地方)
		P.189	港町として栄えた瀬の浦(福山市)			P.229	地場産業・伝統産業(輪島市・金沢市)
		P.202	世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群			P.243	世界が注目！日本の都市文化(関東地方)
		P.206	歴史を大切に近畿地方の地域づくり(京都市)			P.258-259	伝統文化の維持と革新(弘前市・黒石市など)

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
1		P.7	日本の国旗	1		P.20-21	日本の領域をめぐる問題をとらえよう(北方領土・竹島・尖閣諸島)
		P.18-19	日本の領域の特色をとらえよう				
		P.19	沖ノ鳥島を守るために				
2	1	P.41	神社への初詣(伊勢神宮)				

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
2	2	巻頭1-2	持続可能な社会と私たち	3	3	P.182-183	工業の変化と自然環境の保全(九州地方)
		P.72-73	国境をこえるエネルギーと環境問題(ヨーロッパ)			P.199	インターネットと地域活性化(徳島県)
		P.81	持続可能な農業・焼畑農業(アフリカ)			P.209	琵琶湖の環境を未来の世代へ
		P.105	大量生産・大量消費の生活を維持する？しない？(北アメリカ)			P.215	林業の歴史と未来(近畿地方)
		P.117	さまざまな立場の人々と熱帯雨林を守る方法を考えよう(南アメリカ)			P.233	産業の競争力を維持する方法を考えよう(中部地方)
		P.128-129	深刻化する環境問題(オセアニア)			P.254	復興の先を見すえて―東北地方の太平洋沿岸を例に―
3	2	P.159	再生可能エネルギーと脱炭素社会	P.275	十勝平野の地域循環型農業の取り組み		

6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
3	2	P.150-151	地震・火山災害、気象災害	3	3	P.237	ヒートアイランド現象、集中豪雨(関東地方)
		P.152-153	防災・減災、自助・共助・公助			P.246-247	持続可能な都市づくりに向けて(関東地方)
		P.154	地震のおさるしくみ、想定される地震被害			P.250-265	東日本大震災
		P.155	ハザードマップを活用しよう(北名古屋市)			P.262-263	震災からの復興と災害に強い地域づくり(東北地方)
3	3	P.176-177	火山・気候と人々の生活(九州地方)	P.265	これから10年間の復興計画を考えよう(東北地方)		
		P.211	阪神・淡路大震災	P.279	火山と地域との共生(北海道地方)		
		P.221	水とつき合う地域の知恵(輪中)(中部地方)				

7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
2	1	P.28	雨温図の読み取り方	3	1	P.130-143	地域調査の手法(京都市伏見区)
2	1・2	P.41・97	主題図の読み取り方			P.134-135	デジタル地図を活用する
2	2	P.49・55	グラフの読み取り方	3	2	P.164-165	交通・通信からみる新型コロナウイルス感染症
		P.87	情報通信網の整備(アフリカ)	3	4	P.282-292	地域の在り方(宮崎市)

8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目	編	章	ページ	項目
		巻頭1-2	持続可能な社会と私たち	3	3	P.265	これから10年の復興計画を考えよう(東北地方)
3	2	P.152-153	防災・減災、自助・共助・公助	3	4	P.282-292	地域の在り方(宮崎市)
3	3	P.249	東京への一極集中についてディベートしよう			P.292	より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう

● 教師用指導書のご案内 令和7(2025)年3月発行予定

教師用指導書は、「学習指導編」「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集」から構成されます。

学習指導編

先生方の授業計画や教材研究をサポートします。

掲載内容

Table with 2 columns: Section (総論編, 学習指導編) and Content (学習指導要領や学習指導計画作成資料などの基本的な資料...)

● 単元を貫く問い

1時間の授業でも常に単元を貫く問いを確認することができます。

● 板書例

1時間の学習のポイントを整理しています。

Sample pages from the teacher's guide showing lesson plans, board writing examples, and evaluation questions.

● 本時の展開

教科書に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点・配慮事項、評価などを例示しています。

● 解答例・手立て

教科書の問いの解答例や、指導の手立てを示し、評価にも活用していただけます。

ワークシート・評価問題編

先生方の授業準備や評価をサポートします。

掲載内容

Table with 2 columns: Section (ワークシート編, 評価問題編) and Content (教科書に準拠した1時間ごとのワークシート...)

デジタルデータ集

ICTを活用した授業をサポートします。

収録内容

Table with 2 columns: Section (教科書関連データ, 付録データ) and Content (教科書紙面データ, 電子黒板など提示型ICT機器で利用できる教科書全ページの紙面PDF...)

「デジタルデータ集」はクラウド配信を予定していますので、WindowsPC・iPad・Chromebookなどの多様な機種で標準ブラウザを使用しての閲覧が可能です。

Sample pages from the worksheet and evaluation problem book, including a map of China and evaluation questions.

ワークシート(解答例付き)

Text describing the geographical features and climate of the Kansai region (關東地方).

教科書紙面データ(総ルビ付きPDF)

● デジタル教科書・デジタル教材のご案内

1人1台端末で利用する「学習者用デジタル教科書」、学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができる「学習者用デジタル教科書+教材」、電子黒板などで提示する「指導者用デジタル教科書(教材)」を発行します。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。WindowsPC・iPad・Chromebookの3種に対応しています。

📍 学習者用デジタル教科書

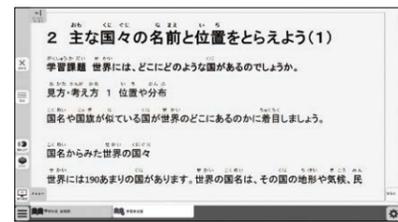
いつでも拡大、いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。

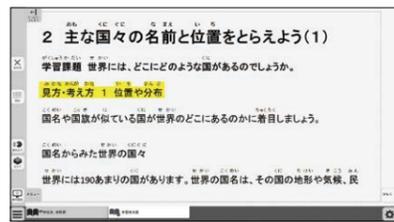
充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更(リフロー機能)、総ルビ表示、本文の機械音声読み上げ、背景色・文字色等の変更など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

① リフロー機能・総ルビ表示



② 機械音声読み上げ



③ 背景色・文字色等の変更



📍 指導者用デジタル教科書(教材)

豊富なコンテンツで生徒の理解を支援

コンテンツ例① 地図の重ね合わせ

紙の教科書に載っている複数の地図を重ね合わせて、個別に表示を切り替えることができます。



コンテンツ例② スライドショー



スライドショーでの解説と作業学習を組み合わせることで学習効果を高めます。

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単純拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・様々な場面で活用しやすい「NHK for Schoolリンク集」

本製品は開発中のため、記載の内容・仕様は予告なく変更する場合があります。

● 日文Webサイトのご案内

日文Webサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つ様々な情報を積極的に発信しています。

📍 令和7年度版 中学校教科書 特設サイト

令和7年度から使用される新しい中学校教科書『中学社会 地理的分野』『中学社会 歴史的分野』『中学社会 公民的分野』『中学数学』『美術』『中学道徳 あすを生きる』をご案内しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/r7js_textbooks/

- 動画** 教科書や教科書QRコンテンツのポイントを短く簡潔に紹介します。
- 教科書のポイント** 教科書の特長をポイント別にわかりやすく紹介します。
- 教科書QRコンテンツ** コンテンツ紹介のほか、実際にコンテンツを触ることができます。
- 教師用指導書** 各編、資料、デジタル教材など、内容や構成を紹介します。
- 資料ダウンロード** 内容解説資料、編修趣意書、年間指導計画案などを掲載します。
- 表紙** 各分野の表紙と、表紙デザインへ込めた思いを紹介します。
- 関連コンテンツ** 教科書に関連する様々なお役立ちコンテンツを紹介します。
- 日文が大切にしていること** SDGs、特別支援教育・CUD、防災・安全、道徳教育との関連、現代的な諸課題への対応など、教科を横断する取り組みについて紹介します。

📍 令和7年度版 中学校 デジタル教科書サポートサイト

令和7年度から使用される新しい中学校デジタル教科書を中心にご案内しています。



- 基本機能からオリジナルツールまでわかりやすく紹介します。
- 指導者用・学習者用の内容や特長などを詳しく紹介します。
- 体験版でデジタル教科書の実際の動作やコンテンツを体験できます。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。



https://www.nichibun-g.co.jp/digital_support3/

📍 その他のおすすめコンテンツ

日文Webサイトの数あるおすすめコンテンツの中から、今回は2つピックアップします。

Web マガジン「まなびと」

美術、道徳、社会、人権、共生社会、ESD、PBL、ICTなど、様々なテーマにおいて深掘りした連載記事を中心に、定期的に更新しています。



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/web-magazine/manabito/>

機関誌・教育情報

教科の機関誌、授業や指導に悩む先生方へ向けたABCシリーズ、様々なテーマを扱った教授用資料などを電子ブックやPDFで公開しています。



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/>

●教科書検討の観点からみた内容の特色

※青字の「⇒(P.000)」は教科書のページ数です。

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所
① 教育基本法及び学校教育法との関連		
⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	我が国の国土及び世界の諸地域に関する 基礎的・基本的な知識及び技能 を確実に習得し、日本や世界の 地域的特色 を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるようになっている。 ◆第2編第2章 世界の諸地域 ・第3編第3章 日本の諸地域 では、州・地方の 地域的特色 を確実に捉えられる構成になっている。まず、① 州・地方の概要を大観し 、そのうえで② 導入ページ で問いを立て、学習を見直し、③ 主題学習・動態地誌的学習 を進め、④ 単元のまとめ・ふり返し で問いを解決し、学びを振り返ることで、 単元全体で主体的・対話的で深い学びを実現 するようにしている。 ⇒第2編第2章(ヨーロッパ州/P.62-77など)、第3編第3章(近畿地方/P.202-217など) ◆ 地域的特色の理解に必要な教材を系統的に配置 するとともに、地図・写真・グラフなどの図版を豊富に掲載している。	⇒P.6 P.8-15 P.36 ⇒P.9 P.12-13
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、 地理的な見方・考え方を働かせて思考力、判断力、表現力等の向上 を図りながら、学習の成果を実感できる構成になっている。また、地理と職業及び生活との関わりへの関心を高め、 勤労を重んずる態度 を養えるよう配慮している。 ◆教科書全編にわたり、 地理的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする問い を豊富に設け、 主体的・対話的で深い学びが実現 できるようにしている。 ⇒巻頭3-4 ◆世界や日本の人々の生活場面や労働の様子を読み取ることができる写真を多数掲載し、 職業・生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度 を養えるようにしている。 ⇒P.30-39、52、78、85、138-139、197、198-199、213、222、224、257、270、288など	⇒P.6-7 P.12-13 P.16-17 ⇒P.12-13
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	多様性、人権尊重 などについての地理に関わる事象を豊富に取り上げ、 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度 を養えるよう配慮している。また、 公共の精神 に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮している。 ◆教科書全編にわたり、世界や日本の 地域的特色 を捉える際に、 多様性、人権 を考える教材を豊富に取り上げている。 ⇒P.30-41、74、85、122、124-125、129、181、211、245など ◆第3編第1章 地域調査の手法 ・第3編第4章 地域の在り方 では、 自分の言葉で表現し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させる ことができるようになっている。 ◆第3編第4章 地域の在り方 では、地域の課題を見出し、地域の在り方を構想することで、 社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度 を養えるようにしている。	⇒P.30 P.33 ⇒P.24 ⇒P.24
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	世界や日本における 環境問題や環境保全、持続可能な社会、災害・防災 といった諸課題の現状と改善に取り組む人々の努力について考えさせる内容を随所に配し、 生命や自然を大切に する態度を養えるよう配慮している。 ◆グローバル化する国際社会において、 持続可能な社会 を作っていく上で取り組まなければならない様々な 地球的課題 や 地域の課題 を取り上げている。 ⇒P.45、95、111、175、239、271など ◆ 持続可能な社会、環境問題や環境保全 について、 系統立てて様々な角度から学習 できるようにしている。 ⇒巻頭1-2、P.66、72-73、102-103、106-117、126-127、173、181-183、209、246-247、250-265など ◆ 災害・防災 について 系統立てて学習 できるようにしているとともに、 具体的かつ実践的な活動 を取り上げることで、 生命や安全の確保に主体的に取り組む ことができるようになっている。 ⇒P.146-155、177、211、221、246-247、250-265など	⇒P.10 ⇒P.22-23 P.32 ⇒P.26-27
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	我が国の 伝統と文化の特色 を広い視野に立って考え、 我が国や身近な地域を愛する心 を養えるよう配慮している。また、 国際理解 を深めることができる内容を豊富に取り上げ、 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する態度 を養えるよう配慮している。 ◆我が国における 伝統・文化の現状と、それを守り未来に継承していく人々の取り組み について、随所で取り上げている。また、 現代文化 についても積極的に扱っている。 ⇒P.136-143、180-181、189、199、202-217、228-229、243、258-259、278-279など ◆世界の多様な文化の学習を通して、 文化の意義や影響を理解し、多文化共生社会の重要性を認識 できるようにしている。 ⇒P.30-41、59、100-101、112-113、122、124-126、129など ◆我が国と諸外国との関係、 国際協力、国際社会における支援、紛争解決や平和の希求 などの教材を豊富に取り上げている。 ⇒P.9、19-21、55、59、62-77、85-87、89など ◆ 日本の領土についての学習 では、 日本固有の領土である北方領土・竹島の領土問題を的確に取り上げる るとともに、 日本固有の領土である尖閣諸島には領土問題は存在しない ことを明記している。また、日本の領域をめぐる諸	⇒P.30-31 ⇒P.30-31 ⇒P.28 ⇒P.33

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所
	課題の解決に向けて、どのような取り組みが必要かを考えさせる内容になっている。 ⇒P.18-21	
⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。	◆学校教育法第30条第2項に示された「 基礎的な知識及び技能の習得 」、「 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等その他の能力の育成 」、「 主体的に学習に取り組む態度の育成 」が重視されている。	⇒P.6-15
② 学習指導要領との関連		
⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。	◆学習指導要領に準拠し、 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする思考力、判断力、表現力等の向上 を図る学習を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な 公民としての資質・能力の基礎を育成 する内容になっている。	⇒P.6-15 P.16-17
⇒ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆本文は原則1授業時間=見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認コーナー・表現コーナー が設けられ、基礎的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されており、習得した知識及び技能を用いて文章化・言語化できるようにしている。 ◆ 本文 は、十分な文字量を確保し、平易な表現で、地理的事象や地理的概念を丁寧に記述している。 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、学習課題の解決に向けての手がかりとなる地理的な見方・考え方の例を示している。 ◆見開きページの右端に インデックス を設け、学習している単元を常にわかるようにして、全体の中に位置づけて理解しながら、学習を進めることができる。 ◆ 地理+α や 持続可能な地域をめざして では、地理的分野の学習を掘り下げる具体的な内容を取り上げて、理解を深めることができる。 ◆ スキルUP では、地理的分野の学習に必要な地理的技能を6種類に整理し、生徒の発達の段階に応じて 地理的技能を系統立てて習得 できるようにしている。 ⇒ スキルUP(一覧/巻頭9) ◆資料を用いた活動を示す 資料活用コーナー を設けており、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができる。	⇒P.12-13 P.36 ⇒P.12-13 ⇒P.16-17 ⇒P.12-13 P.34 ⇒P.10 P.13 P.23 P.25 ⇒P.12 P.25 ⇒P.12-13
	◆教科書内で関連する事項どうしを結び付ける 参照ページ で、多面的・多角的な見方をする中で、学習内容の定着を図っている。 ◆ 連携コーナー では、小学校社会科の学習や歴史的分野・公民的分野の学習とのつながりが示され、生徒の理解を確かなものにするとともに、習得した知識を活用できるようにしている。 ◆ 図版 は、 本文との関連が的確 で、世界や日本の 地理的事象を具体的にイメージ できる資料が豊富に掲載されている。資料を読み取る活動が適所に設定されており、生徒が 楽しく地理を学びながら資料活用能力の向上 も図れるように工夫している。	⇒P.12 P.25 ⇒P.12-13 ⇒P.37 ⇒P.9 P.12-13
	◆ トライ・スキルUP・資料活用コーナー なども含めて、毎時間、 思考力、判断力、表現力等の向上 を図る場面を設定し、随所で 生徒が自分の言葉で表現 できるように構成されている。 ◆ まとめとふり返し では、習得した知識を活用し、 生徒が単元を貫く問いについて自分の考えをまとめ、議論してみよう で地理的な諸課題について 考察・構想 したことを論理的に説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなど、言語活動に関わる学習ができるようになっている。 ⇒ 議論してみよう(一覧/巻頭9)	⇒P.12-13 P.14-15 P.25 ⇒P.6-7 P.14-15 P.23 P.36
	◆生徒が学習の見直しをもったり学習を振り返ったりすることができるよう、教科書に 単元を貫く問い (「編の問い」、「章の問い」、「節の問い」)を構造的に設定している。 ◆各編・章の導入ページ 学習のはじめに 、各節の導入ページ 節の問いを立てよう では、活動を通して単元を貫く問いを立てたり学習を見直ししたりすることができるよう工夫している。また、何を学ぶかを捉えるための教材として、単元の学習内容を端的に捉えることができる図版を掲載し、 トライ や キャラクター の吹き出しで生徒が自ら問いを立てる活動を支援することで、生徒にとって取り組みやすくなるように工夫している。 ⇒ 学習のはじめに(P.2-3、26-27、44-45、130-131、144-145、168-169、282-283) ⇒ 節の問いを立てよう(P.51、83、111、123、191、207、223、239、255、271など) ◆各単元末に設定している まとめとふり返し では、学習したことをまとめ、振り返る活動を通して 単元を貫く問いに答える活動 を設定している。 主体的に学習に取り組む態度の見取り を支援している。 ⇒ まとめとふり返し(P.24-25、60-61、116-117、128-129、200-201、216-217、264-265など)	⇒P.6-7 P.10-11 P.36 ⇒P.6-7 P.10-11 P.36 ⇒P.6-7 P.14-15 P.36
⇒ 学びに向かう力、人間性等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆巻頭 地理的な見方・考え方って? では、地理的分野の学習に先立って 地理的な見方・考え方をおおまかにつかむ ことのできるイラスト等を掲載し、 五つの見方・考え方について丁寧に説明 している。 ⇒ 巻頭3-4 ◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きの学習課題の解決に向けた手がかりとなる 地理的な見方・考え方 の例を示している。	⇒P.16-17 ⇒P.16-17

資質・能力の三つの柱を養うための創意・工夫

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な 関連箇所
⇒地理的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びを実現するために、どのような創意・工夫をしているか。	◆単元の学習における習得・活用・探究の学びの過程のなかで、 地理的な見方・考え方を繰り返し働かせる ようになっている。例えば、第2編第2章 世界の諸地域 ・第3編第3章 日本の諸地域 では、 節の問いを立てよう で単元の学習の見通しをもち、各ページにおいてそれぞれ適切な見方・考え方を働かせながら、 州・地方の概要を大観し 、そのうえで 主題学習・動態地誌的学習 を進め、最後に まとめとふり返し に取り組みすることで、 単元全体で主体的・対話的で深い学びを実現 するようにしている。 ◆話し合いなどの対話的な活動が想定される問いには 学び合いマーク を付している。	⇒P.6-7 P.8-15 P.36 ⇒P.13
③ 構成・配列		
⇒各単元の学習を行うのに、効果的な組織・配列になっているか。	◆各単元は 学習のはじめ にで単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。本文ページでの学習を終えた後の まとめとふり返し では、単元を貫く問いに答える活動を行う。この構成を各単元で一貫させることで、生徒が学習を効果的に進めることができるようにしている。	⇒P.6-7 P.10-11 P.14-15 P.36
	⇒構成や分量は適切か。	◆全体を第1編 世界と日本の地域構成 ・第2編第1章 世界各地の人々の生活と環境 ・第2編第2章 世界の諸地域 ・第3編第1章 地域調査の手法 ・第3編第2章 日本の地域的特色と地域区分 ・第3編第3章 日本の諸地域 ・第3編第4章 地域の在り方 の3編7章構成とし、詳細な学習に陥ることがないように、 学習内容の構造化と焦点化 を図っている。109時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、これは、学習指導要領が示す地理的分野の授業時数115時間からいって妥当な分量である。
⇒現代的な諸課題にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆世界や日本の現代的な諸課題について、 生徒が主体的に考察 することができる教材を取り上げている。本文や写真に加えて、 地理+α や 持続可能な地域をめざして で地理的分野の学習を掘り下げ、 学習内容の理解を深めていく ことができる最新の地理的トピックスを紹介している。 ⇒P.50、66、73、75、82、94、103、154、164-165、190、265、270、286-291など	⇒P.10 P.13 P.23 P.28-33
⇒持続可能な社会、持続可能な開発目標(SDGs)にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆巻頭 持続可能な社会と私たち で、SDGsの17の目標を取り上げるとともにカーボンニュートラルやSociety5.0の概念について解説し、SDGsの先の未来を見すえられるようにしている。 ⇒巻頭1-2 ◆持続可能な社会を実現するための諸課題を 地球的課題や地域の課題 として取り上げ、これらの諸課題を 自らの問題として捉え、その解決をめざして行動できる態度を培う ことができるように構成している。 ⇒P.45、66、72-73、94、102-103、110、115、182-183、246-247、250-265、270、284、290-291など	⇒P.22 ⇒P.22-23 P.32 P.43
⇒環境、資源・エネルギーにかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆地球規模の 環境問題や資源・エネルギーの問題 、日本における 環境問題や資源・エネルギーの問題 を様々な角度から取り上げ、これらの諸課題を 自らの問題として捉え、その解決をめざして行動できる態度を培う ことができるように構成している。 ⇒P.45、58-59、72-73、82、106-117、126-127、158-159、173、180-183、209など	⇒P.22-23 P.32 P.41
⇒災害・防災にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆第3編第2章 日本の地域的特色と地域区分 では、様々な災害や防災・減災(自助・共助・公助)について、体系的に詳しく学習することができる。また、 具体的かつ実践的な活動 を取り上げることで、 生命や安全の確保に主体的に取り組む ことができるようにしている。 ⇒体系的に学習(P.150-151)、 具体的・実践的活動(P.152-155) ◆第3編第3章 日本の諸地域 では、 災害・防災に関する各地方の諸課題や災害からの復興 について学習することができるように構成している。 ⇒P.177、211、221、246-247、250-265など	⇒P.26-27 P.41 ⇒P.26-27 P.41
⇒伝統・文化にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆我が国における 伝統・文化の現状と、それを守り、未来に継承していく人々の思いや取り組み について、随所に写真、 地理+α などを設定している。 ◆各地方に生きる人々の視点に立って、 各地に息づく文化 を取り上げるとともに、 現代文化についても積極的に取り上げ ている。 ⇒P.180-181、212-217、229、243、250-251、258-259、278-279など	⇒P.31 P.41 ⇒P.31 P.41
⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆我が国や諸外国の国旗について、そこに込められた人々の思いや、象徴として 尊重され大切に扱われている ことを明記している。 ◆日本の領域についての学習では、 日本固有の領土である北方領土・竹島の領土問題 を的確に取り上げるとともに、 日本固有の領土である尖閣諸島には領土問題は存在していない ことを明記している。また、日本の領域をめぐる諸課題の解決に向けて、どのような 取り組みが必要かを考えさせる 内容になっている。 ⇒国旗(P.7)、 日本の領域(P.18-21)	⇒P.41 ⇒P.33 P.41
⇒平和や国際理解、多文化共生にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆世界と日本の地域的特色の学習を通して、 多文化共生社会の重要性を認識し、我が国や郷土を愛する心情を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる 内容になっている。 ⇒P.59、73、75、82、87、122-123、125、129、181、195、245など	⇒P.28 P.30-31 P.33 P.41
⇒ウェルビーイングと関わる学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆生徒が、社会を構成する当事者として、 個人と社会の幸せのために、多様性と包摂性のある持続可能な社会をめざして、自ら主体的に考え、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等の涵養 ができるような教材が設けられている。	⇒P.22-23 P.24-25 P.26-27

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な 関連箇所
⇒個別最適な学び、協働的な学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆ 個別最適な学び については、 指導の個別化の実現のため、教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 など、生徒の学習到達度に応じて教師から柔軟に提供できる多様な教材を設けている。また、第2編第2章・第3編第3章各節の 節の問いを立てよう では、「節の問い」を解決するために、教科書に記載された例を参考にして「なぜ」を用いた問いを立て、州・地方の地域的特色の追究を進めることを想定しており、 学習の個性化が実現 できる。 ◆ 協働的な学び については、 学習のはじめに、資料活用コーナー、まとめとふり返りの自分の考えをまとめよう・議論してみよう など、読み取ったことを発表し合う場面や、生徒の多様な回答が可能な問いや活動に 学び合いマーク を付している。自分の考えをクラスメイトとともに練り上げていく対話的な活動を提案するとともに、こうした活動を積み重ねることで、 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成 するように配慮されている。 ⇒ 学び合いマーク(P.25、26、48、67、89、98、135、155、191、204、233、255、281など)	⇒P.6-7 P.10-11 P.18-19 ⇒P.13 P.14-15 P.23 P.25
⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。	◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように 各種の教材が設けられている 。 ◆第3編では、第3編第1章 地域調査の手法 の調査結果を念頭に置きながら、第3編第2章 日本の地域的特色と地域区分 ・第3編第3章 日本の諸地域 の学習を進め、その結果を踏まえて第3編第4章 地域の在り方 で地域の課題を見出し、 地域の在り方を構想する 構成となっている。このような構成を取ることで、教科書の事例を参考にしながら、生徒の姿や地域の実情に応じた地誌学習や地域調査を進めることができるよう配慮している。 ◆第3編第1章 地域調査の手法 (事例地域：京都市伏見区)は、修学旅行の事前準備や当日の現地での活動など、教師や生徒が京都を訪れる際にも活用することができる。	⇒P.8-15 ⇒P.24 ⇒P.24
⇒ICTを活用して学習を効果的に進められるように工夫しているか。	◆教科書紙面に 二次元コード を掲載し、発行者Webサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等のデジタルコンテンツである 教科書QRコンテンツ に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ◆教科書QRコンテンツのある箇所には、教科書紙面に タブレットマーク を配置し、その内容を示している。	⇒P.12 P.18-21 ⇒P.13 P.18
⇒デジタル教科書・教材の発行予定はあるか。	◆教科書に完全に準拠し、拡大・リフロー、音声読み上げ、色の反転・配色設定、総ルビ表示といった特別支援機能を持つ 学習者用デジタル教科書 や、動画・アニメーション表示などの豊富なコンテンツを収録し、電子黒板や1人1台端末などで操作することができる 指導者用/学習者用デジタル教材 の発行が予定されている。	⇒P.35 P.44
⇒情報活用能力の育成について、どのような配慮がなされているか。	◆社会科におけるICT機器を利用した学習を促進し、 情報活用能力を育成 できるようデジタルコンテンツを提供している。 ◆地図・写真・文章などから様々な地理的情報を収集する能力、情報を読み取る能力、情報をまとめる技能を解説する スキルUP を系統立てて掲載し、 地理的技能の向上を図る ことができるよう工夫している。また、ICT機器の活用方法や地理院地図などのGISの利用方法が随所で取り上げられている。 ⇒ スキルUP(一覧/巻頭9) ◆ まとめとふり返し では、生徒が主体的に課題解決・探究学習を行うための教材を設けている。また、そのような学習に際して、情報を整理・比較などするための 思考ツール を取り上げている。	⇒P.18-21 P.41 ⇒P.25 ⇒P.6 P.14-15 P.36
⇒生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。	◆第2編第2章 世界の諸地域 ・第3編第3章 日本の諸地域 のすべての節の 持続可能な地域をめざしてに教科書QRコンテンツ「イントロダクションムービー」 が用意されている。州・地方の特色ある地理的事象を取り上げながら「 節の問い 」を立てるにあたっての 手立て となり、 学習の見通しをもつ ことができる教科書完全準拠の動画コンテンツで、 家庭での予習・復習にも利用 できるように工夫している。 ◆基礎的・基本的な知識に関する一問一答の問題である 教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 が用意されている。答え合わせや誤答した問題の振り返りを生徒自身で行え、 家庭での予習・復習にも利用 できるように工夫している。 ◆巻末に 世界の国別資料・日本の県別資料 を設け、基本的な統計数値が参照できるようになっている。また、巻末に 用語解説 を設け、 地理的用語を5種類に区分してわかりやすく解説 するとともに、その用語が 重要語句 になっているページを参照できるように工夫している。 ⇒ 世界の国別資料(P.294~295) 、 日本の県別資料(P.296~297) 、 用語解説(P.298~301)	⇒P.19 ⇒P.19
⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達段階に対して、どのような配慮がなされているか。	◆ 学習のはじめ にや本文、脚注の 連携コーナー において 小学校社会科 における地理的分野に関わる 学習内容を再確認 し、それを踏まえて 地理的分野の学習に取り組む ことができる構成になっている。 ⇒ 学習のはじめに(小学校で学習した内容/P.3、27、45、131、145、169、283) ⇒ 本文(P.136) 、 連携コーナー(P.6、14、18、58、72、146~152、160、161、214、226、242など) ◆ 地理的技能の習得のためのスキルUP の配列、 まとめとふり返し における 思考ツール や 議論してみよう の活動の配列は、 発達段階を考慮 したものとなっている。 ⇒ 思考ツール(フィッシュボーンチャート/P.61、77、233など) ◆教科書冒頭では トライ で生徒の興味・関心を高めながら 思考力、判断力、表現力等の向上を図る 活動をさせ、その後 資料活用 や まとめとふり返し における活動で徐々に 思考力、判断力、表現力等の内容を深めていく など、 発達段階を考慮 した構成としている。	⇒P.12 P.37 ⇒P.15 P.23

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
他校種・他教科・他分野との接続	⇒歴史的分野や公民的分野との連携・地図帳の活用について、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史的分野・公民的分野との関連を考慮した内容構成となっている。歴史的分野との関連では、地理的事象の歴史的背景を、歴史的分野との学習順序にも配慮しつつ確認できるようになっている。公民的分野との関連では、地球的課題・地域の課題とその解決策を追究し、公民的分野の学習につなげていくことができるようになっている。 ◆本文ページ脚注の連携コーナーなどで、生徒が歴史的分野や公民的分野の学習に関連する事項を確認、活用することができる。 ⇒連携コーナー(歴史・公民/P.20、68、80、86、172、208、278など)、まとめとふり返り(P.292) ◆教科書の随所に設定された作業学習の場面で地図帳の活用方法を取り上げ、教科書と地図帳を有機的に組み合わせた学習を展開できるようにしている。 ⇒トライ(P.5、6、7、9、11、14、22)、スキルUP(P.11、13、22)、まとめとふり返り(P.25)など 	⇒P.12 P.37 ⇒P.12 P.37
	⇒他教科との関連について、どのような配慮がなされているか。	◆他教科と関連のある教材を多数掲載しており、地域や生徒の実態に合ったカリキュラム編成をすることができるようにしている。 ⇒スキルUP(グラフの読み取り方/P.55)など	⇒P.37
	⇒道徳教育との関連から、取り扱う内容はどのような工夫がなされているか。	◆教科書全体が 個人の尊重の考え方を基本理念 として構成されており、取り上げられている教材は、人権尊重・男女共同参画などの観点から適切に選択されている。 ◆広い視野で考え、身近なところから課題を見出し、主体的・対話的な学び、地球的課題・地域の課題の追究、第3編第1章 地域調査の手法 ・第3編第4章 地域の在り方 の学習などを通じて 社会参画 への関心や意欲を養い、 持続可能な社会 の形成に参画する態度を養えるようにしている。	⇒P.37 ⇒P.10 P.24
④ 正確性及び表記・表現			
⇒文章および図版等の表現は正確か。	◆本文や地図・写真・グラフ・しくみ図・イラスト等の図版類すべてにわたり、内容はもとより、用語の一つ一つまでも細心の吟味を払うとともに、 きわめて正確でかつ最新の資料 を選択している。	⇒P.12-13	
⇒カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則1授業時間=見開き2ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、授業や生徒の思考の流れに即したレイアウトで構成している。 ◆見開きページの右端には、インデックスを設けて、生徒が学習している単元を常に確認できる工夫がなされている。 ◆文字は、視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用している。 ◆本文は平易な文章で、抽象的・網羅的な記述を避けて、具体的に記述している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き2ページの初出にふりがなを付し、読みまちがいのおそれがあるものや人名等については教育漢字であっても極力ふりがなを付して、読み取りやすくしている。 ◆ふりがなは、大きめのゴシック体を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆重要語句は太字にして、すべてふりがなが付されている。図版の解説も充実し、振り返りと広がり意識した参照ページが随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ◆図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号を添えており、本文と図版を関連して読み取らせるようにしている。 ◆編・章ごとに単元の色を統一して示すことで、現在、学習している単元が常にわかるようになっている。 ◆地図・グラフ等の図版類は、カラーバリアフリーに配慮した配色にするほか、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるように配慮している。 ◆本文が22、26ポイントの2種類の拡大教科書の発行が予定されている。 	⇒P.35 ⇒P.12-13 ⇒P.12-13 P.34 ⇒P.34 ⇒P.12-13 ⇒P.12-13 P.34 ⇒P.34 ⇒P.12-13 P.34 ⇒P.12-13 P.34 ⇒P.34 ⇒P.35 ⇒P.35	
⑤ 造本			
⇒大きさ・判型について	◆見開きページの情報量を充実させるため、ワイドな AB判 が採用されている。	⇒P.8-9	
⇒印刷の鮮明さについて	◆文字や地図、写真、イラストなどの印刷は鮮明で、読み取りやすく、生徒の興味・関心を高めることができる。	⇒P.12-13	
⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。	◆製本は、 堅牢なあじろ綴じ を採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、 良質で軽い紙 を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、 植物油インキ を使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は可能な限り使用せず、 再生紙 を使用して人体や環境への影響を少なくしている。	⇒P.34	
⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。	◆表紙の装丁は、 世界各地・日本各地の地域的特色をとらえることができる写真 を配置し、地理的分野の学習内容を想起させるものとなっている。また、人々の営みを読み取ることができる写真が掲載され、親しみやすく、かつ 生徒の学習意欲を喚起 するものとなっている。	⇒表紙 P.34	

日本文教出版の志 - Purpose

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみよう」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

私たちは、学びのはじまりを大切にし、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に
した教科書・教材の発行に挑戦し続けてきました。

どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。
その想いを、志(Purpose)に込めています。

私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、
その先に広がる未来をともに育んでいきます。



● 著作者

水内 俊雄	大阪市立大学名誉教授 大阪公立大学大学院客員教授	木原 俊行	大阪教育大学教授	春田 一樹	日南市立日南東郷小中学校教諭
野間 敏克	同志社大学教授	金田 章裕	京都大学名誉教授 京都府立京都学・歴史館館長	樋口 雅夫	玉川大学教授
吉川 真司	京都大学大学院教授	熊田 禎介	宇都宮大学准教授	福嶋 章	西都市立三納小中学校教諭
秋山 雅文	京都教育大学附属桃山中学校副校長	栗栖 薫子	神戸大学大学院教授	藤井 譲治	京都大学名誉教授
浅川 俊夫	東北福祉大学教授	黒崎 至高	前橋市立岩神小中学校教諭	富士道 正尋	全日本中学校長会事務局長 元小金井市立南中学校校長
五百旗頭 真	神戸大学名誉教授	桑原 敏典	岡山大学学術研究院教授	二川 正浩	東京家政大学准教授
池口 明子	横浜国立大学准教授	國分 麻里	筑波大学教授	二村 太郎	同志社大学准教授
池野 範男	広島大学名誉教授	小長谷 有紀	国立民族学博物館名誉教授	升野 伸子	昭和女子大学教授
井田 仁康	筑波大学教授	小林 伸彦	茨城大学大学院准教授	松田 聰子	桃山学院大学教授
市川 則文	三重大学教職大学院特任教授	米家 志乃布	法政大学教授	松田 莉奈	鳴門教育大学附属中学校教諭
一ノ瀬 俊明	国立環境研究所 上席研究員 名古屋大学大学院教授	米家 泰作	京都大学大学院教授	松本 哲治	同志社大学大学院教授
伊藤 直之	鳴門教育大学大学院准教授	榊原 範久	上越教育大学大学院教授	三枝 暁子	東京大学大学院准教授
猪野 滋	宮崎第一中学校高等学校教諭	指 昭博	神戸市外国語大学名誉教授	水山 光春	京都教育大学名誉教授 京都橋大学教授
井上 満郎	京都市歴史資料館館長 京都産業大学名誉教授	佐藤 幸治	京都大学名誉教授 日本学士院会員	宮口 侗迪	早稲田大学名誉教授
岩崎 圭祐	鹿児島大学助教	佐藤 康也	大阪大学大学院教授	村山 良之	元山形大学大学院教授
岩崎 奈緒子	京都大学教授	杉山 勉	京都橋大学非常勤講師	森 実	大阪教育大学名誉教授
上畑 直久	京都市立西京高等学校附属中学校副校長	周藤 芳幸	名古屋大学大学院教授	安岡 卓行	宇都宮市立陽南中学校主幹教諭
宇田川 妙子	国立民族学博物館教授	曾我 謙悟	京都大学大学院教授	谷田部 玲生	桐蔭横浜大学教授
大岡 聡	日本大学教授	高岡 裕之	関西学院大学教授	山口 泰宏	筑波大学附属中学校教諭
大谷 啓子	鳴門教育大学附属中学校教諭	田口 紘子	日本体育大学教授	山本 紀夫	国立民族学博物館名誉教授
大西 宏治	富山大学教授	棚橋 健治	安田女子大学教授	吉田 道代	和歌山大学大学院教授
大庭 邦彦	聖徳大学教授	田丸 明史	札幌市立手稲西中学校校長	早田 泰大	小林市立西小林中学校教諭
奥山 研司	扇町同郷学園理事長	辻中 豊	東洋学園大学学長 筑波大学名誉教授	日本文教出版株式会社	ほか1名
小貫 篤	埼玉大学准教授	長島 和広	横浜市立鶴居中学校校長	ほか1名	
角田 将士	立命館大学教授	永田 成文	広島修道大学教授	防災・安全教育に関する校閲	
川北 稔	大阪大学名誉教授	中村 基一	生駒市立生駒中学校教諭	片田 敏孝	東京大学大学院情報学環特任教授
川口 広美	広島大学大学院准教授	西田 直記	京都教育大学附属京都小中学校教諭	河田 恵昭	関西大学特別任命教授
岸上 智弘	大阪市立山之内小学校校長	西田 義彦	岬町立岬中学校教諭	特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲	
岸上 伸啓	国立民族学博物館教授	野々村 拓也	元美馬市立江原中学校校長	大内 進	星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員
		信田 敏宏	国立民族学博物館教授	道徳教育に関する校閲	
		橋本 康弘	福井大学教授	島 恒生	畿央大学大学院教授



● 教科書の表紙デザインについて

学習内容が表紙からも伝わるように写真を多く配置しています。たくさん色でまるくタイトルを囲んだデザインは多様性とそれぞれの繋がりが公平性を表現し、そこを起点に放射状に写真をあしらうことで、新しい未来へ広がっていくようにという願いを込めました。

表紙デザイン：大敷胤美(フリーズ)

SDGs：国連(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>)“The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States”.

※本文中の「Word」の文言は、「Microsoft Word」を指します。Microsoft、Wordは、Microsoftグループ企業の商標です。Google、Googleドキュメントは、Google LLCの商標です。本資料に掲載されている会社名、製品名、ソフト名、ロゴ等は各社の登録商標または商標です。



この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

本書の無断転載・複製を禁じます。
CD22356

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690